(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2012 年 6 月 21 日(21.06.2012)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2012/081559 A1

(51) 国際特許分類:
F16B 5/10 (2006.01) *B60R 13/04* (2006.01)
B60R 13/02 (2006.01) *F16B 19/00* (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2011/078726

(22) 国際出願日: 2011 年 12 月 12 日(12.12.2011)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2010-278143 2010 年 12 月 14 日(14.12.2010) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社ニフコ(NIFCO INC.) [JP/JP]; 〒2448522 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町１８４番地１ Kanagawa (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 矢口 博之 (YAGUCHI, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒2448522 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町１８４－１ 株式会社ニフコ内 Kanagawa (JP). 平野 裕樹 (HIRANO, Yuki) [JP/JP]; 〒2448522 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町１８４－１ 株式会社ニフコ内 Kanagawa (JP).

(74) 代理人: 小川 利春, 外(OGAWA, Toshiharu et al.); 〒1010035 東京都千代田区神田紺屋町１７番地ＳＩＡ神田スクエア４階 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

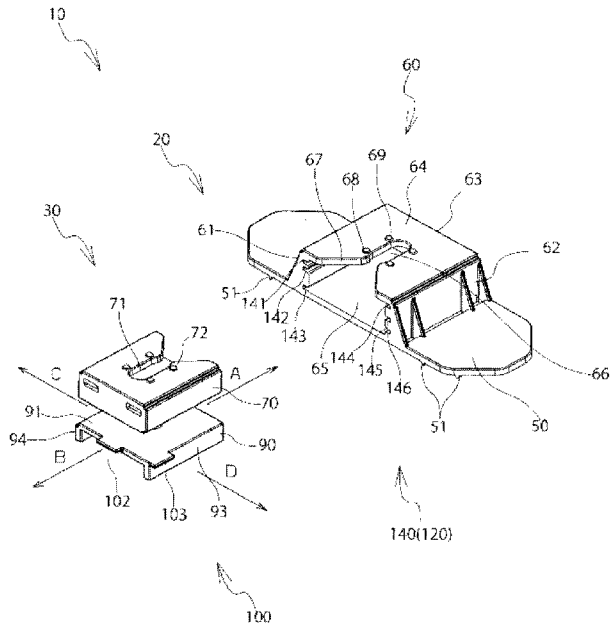
(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) **Title**: BRACKET

(54) 発明の名称 : ブラケット

[図1]



(57) **Abstract**: A bracket is provided with a pedestal and a mounting member. The pedestal has a base which is integral with a garnish for an automobile or is secured to the garnish. The mounting member has: an affixation section affixed to an automobile panel by a fastener; a shaft section extending in a shaft-like shape from the affixation section and fitted to the pedestal; and an engagement section which is located on the opposite side of the shaft section from the affixation section, can be fitted to the pedestal from multiple directions, and can be engaged with multiple different positions of the shaft section in the axial direction thereof by changing the direction of fitting of the engagement section to the pedestal.

(57) 要約: ブラケットは、台座と、取付部材とを備える。台座は、自動車用ガーニッシュと一体若しくは固着されるベース部を有するものである。取付部材は、ファスナーを介して自動車パネルに固定される固定部、固定部から軸状に延び、台座に嵌合する軸部、軸部をはさんで固定部と反対側に位置し、複数の方向から台座に対し嵌合可能であり、当該嵌合する方向を変更することにより、軸部の軸方向の異なる複数位置に係止可能な係止部を有するものである。

WO 2012/081559 A1

添付公開書類:

— 国際調査報告（条約第 21 条(3)）

明　細　書

発明の名称 ： ブラケット

技術分野

[0001] この発明は、自動車パネルに自動車用ガーニッシュ（装飾部品）を固定するためのブラケットに関し、台座に対し、取付部材の組み付け方向を変えることにより、取付部材の高さを所望の複数の高さ位置に、容易に取り付けることができるようにしたものである。

背景技術

[0002] 従来、内筒であるベース部材と、当該ベース部材に外嵌する外筒であるファスナー部材の内外周面に、互いにはまり合う鋸歯状の凹部と凸部とを複数段設け、ベース部材に対するファスナー部材の高さを段階的に調節することができるようにしたファスナーブラケットが知られている（特許文献１の段落番号「００１６」及び「００１７」、図２及び図６参照）。

[0003] また、従来、ガーニッシュに座部を一体に成形し、クリップに組付部を一体に成形し、座部に複数段の凹部を設け、組付部に前記凹部に嵌合する複数段の凸部を設けたクリップが知られている（特許文献１の段落番号「０００９」、「００１４」、「０００１５」、図１及び図４～図６参照）。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：実開平6-59612号公報

特許文献2：特開2004-360752号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] しかし、上記した従来の前者のファスナーブラケット（実開平6-59612号公報）では、ベース部材に対するファスナー部材の高さを段階的に調節するようにしていたので、ファスナー部材を所望の高さ位置に停止させるのが困難であるという第１の問題点があった。

また、上記した従来の後者のクリップでは、組付部がクリップに一体に成形されていたので、既存のクリップが使用できず、汎用性に乏しいという第２の問題点があった。

[0006] そこで、本発明は、上記した従来の技術の有する第１及び第２問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、台座に対し、取付部材の組み付け方向を変えることにより、取付部材の高さを所望の複数の高さ位置に、容易に取り付けることができるようにしたものである。これに加え、本発明は、ファスナーを介して自動車パネルに取付部材を固定することができるようにしたものである。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明は、上記した目的を達成するためになされたものであり、本発明は、次の点を特徴とする。

[0008] 第１に、ブラケットは、次の構成を備える。

（１）台座

（２）取付部材

第２に、台座は、自動車用ガーニッシュと一体若しくは固着されるベース部を有するものである。

[0009] 第３に、取付部材は、ファスナーを介して自動車パネルに固定される固定部、固定部から軸状に延び、台座に嵌合する軸部、軸部をはさんで固定部と反対側に位置し、複数の方向から台座に対し嵌合可能であり、当該嵌合する方向を変更することにより、軸部の軸方向の異なる複数の高さ位置に係止可能な係止部を有するものである。

本発明は、次の点を特徴としてもよい。

[0010] 第１に、係止部と台座との両対向面のどちらか一方（例えば係止部）には、他方（台座）に向かって突出した凸部を形成する。

第２に、他方（台座）には、凸部にはまり合う凹部を形成する。

第３に、凸部と凹部とは、軸部の軸方向の高さを略一致させている。

この態様では、凹凸形状により、取付部材の高さを調節することができる

。

本発明は、次の点を特徴としてもよい。

[0011] 第１に、凸部は、係止部と台座との両対向面のどちらか一方に複数個形成される。

第２に、複数個の凸部は、異なる複数の方向に向かって突出するとともに、軸部の軸方向の高さを互いに異ならせている。

この態様では、凸部を複数個形成し、軸部の軸方向の高さを互いに異ならせることで、凸部を利用して、取付部材の高さを調節することができる。これに加え、異なる高さの凸部を、複数の方向から突出させることで、複数の方向から取付部材を組み付けることができる。

本発明は、次の点を特徴としてもよい。

[0012] 第１に、凹部は、係止部と台座との両対向面のどちらか他方に複数個形成される。

第２に、複数個の凹部は、軸部の軸方向の高さを互いに異ならせている。

この態様では、凹部を複数個形成し、軸部の軸方向の高さを互いに異ならせることで、凹部を利用して、取付部材の高さを調節することができる。

本発明は、次の点を特徴としてもよい。

[0013] すなわち、固定部は、自動車パネルにファスナーを介して固定されるとともに、ファスナーを装着する装着部が設けられている。

この態様では、既存のファスナーを、固定部の装着部の装着することができる。

本発明は、次の点を特徴としてもよい。

[0014] 第１に、台座には、軸部を受け入れ可能な開口を有する嵌合溝を形成する。

第２に、開口の幅を、軸部の直径より小さく設定し、台座の弾性を利用して軸部を嵌合溝にはめ込むようにしている。

この態様では、台座の弾性を利用して、軸部を台座の嵌合溝にはめ込むことができ、又、はめ込んだ後は、開口の幅が軸部の直径より小さくなること

で、嵌合溝から軸部の抜けを防止することができる。

発明の効果

[0015] 本発明は、以上のように構成されているので、台座に対し、取付部材の組み付け方向を変えることにより、取付部材の高さを所望の複数の高さ位置に、容易に取り付けることができる。これに加え、ファスナーを介して自動車パネルに取付部材を固定することができる。このため、既存のファスナーを使用できるので、ブラケットの汎用を向上することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]本発明による１実施形態によるブラケットの分解斜視図である。

[図2]ブラケットの取付状態を示す一部断面図である。

[図3]ブラケット及びファスナーの取付手順を説明するための側面図である。

[図4]本発明による１実施形態における台座の斜視図である。

[図5]台座の正面図である。

[図6]台座の平面図である。

[図7]台座の側面図である。

[図8]図５のＡ部の拡大図である。

[図9]図５のＢ－Ｂ線に沿う断面図である。

[図10]本発明による１実施形態における取付部材の斜視図である。

[図11]取付部材の正面図である。

[図12]取付部材の平面図である。

[図13]取付部材の底面図である。

[図14]図１１のＣ－Ｃ線に沿う断面図である。

[図15]図１のＡ方向に取付部材をはめ込む際のブラケットの分解平面図である。

[図16]図１５の取付状態を示すブラケットの正面図である。

[図17]図１６のＤ－Ｄ線に沿う断面図である。

[図18]図１のＢ方向に取付部材をはめ込む際のブラケットの分解平面図である。

[図19]図１８の取付状態を示すブラケットの正面図である。

[図20]図１９のＥ－Ｅ線に沿う断面図である。

[図21]図１のＣ方向に取付部材をはめ込む際のブラケットの分解平面図である。

[図22]図２１の取付状態を示すブラケットの正面図である。

[図23]図２２のＦ－Ｆ線に沿う断面図である。

[図24]図１のＤ方向に取付部材をはめ込む際のブラケットの分解平面図である。

[図25]図２４の取付状態を示すブラケットの正面図である。

[図26]図２５のＧ－Ｇ線に沿う断面図である。

発明を実施するための形態

[0017] （ブラケット10）

図１～３中、10は、本発明による１実施形態によるブラケットを示し、このブラケット10は、自動車パネル11に自動車用ガーニッシュ12（装飾部品）を固定するのに使用される。

ブラケット10は、図１に示すように、大別すると、次のパーツから構成されている。

なお、ブラケット10のパーツは、次の（１）及び（２）に限定されない。

[0018] （１）台座20

台座20は、図２に示すように、自動車用ガーニッシュ12側に固定される。

（２）取付部材30

取付部材30は、図２及び図３に示すように、ファスナー40を介して自動車パネル11に固定される。台座20と取付部材30とは、互いにはまり合うことで連結され、自動車パネル11に対し、自動車用ガーニッシュ12が固定される。

[0019] なお、取付部材30を、ファスナー40を介して自動車パネル11に固定したが、これに限定されず、取付部材30を自動車パネル11に直接固定したり、或いはファスナー40以外のパーツ、例えばネジ等を使用して自動車パネル11に固定しても良い。

（台座20）

台座20は、図１及び図２に示すように、自動車用ガーニッシュ12と一体若しくは固着されるベース部50を有するものである。本実施の形態では、ベース部50を自動車用ガーニッシュ12と別体に形成し、自動車用ガーニッシュ12に熱溶着している。

[0020] なお、ベース部50を、自動車用ガーニッシュ12と別体に形成したが、一体的に形成するようにしても良い。また、台座20を熱溶着したが、これに限定されず、接着したり、或いはネジ止めしても良い。

台座20は、適度な弾性と剛性とを有し、例えばＰＰ（ポリプロピレン）等の熱可塑性合成樹脂により一体的に成形される。

[0021] 台座20は、図４～９に示すように、大別すると、次の各部を備える。

なお、次の（１）及び（２）については、後述する。

（１）ベース部50

（２）台座本体60

なお、台座20の各部は、上記した（１）及び（２）に限定されず、例えば台座本体60を自動車用ガーニッシュ12に一体的に形成しても良い。

（取付部材30）

取付部材30は、図１及び図１５～２６に示すように、複数の方向、例えば図１のＡ～Ｄの四方から台座20に対し嵌合可能であり、当該嵌合する方向を変更することにより、軸部80の軸方向の異なる複数の高さ位置、例えば４段階の高さ位置に係止可能なものである。

[0022] なお、取付部材30を嵌合する方向として、四方を例示したが、これに限定されず、四方のうち、２方向や３方向、或いは５方向以上としても良い。また、取付部材30の高さの調節位置として、４段階を例示したが、これに限定されず、２段階、３段階、或いは５段階以上としても良い。

取付部材30は、台座20と同様に、適度な弾性と剛性とを有し、例えばＰＰ（ポリプロピレン）等の熱可塑性合成樹脂により一体的に成形される。

[0023] 取付部材30は、図１０～１４に示すように、大別すると、次の各部を備え

る。

なお、次の（１）～（３）については、後述する。

（１）固定部70

（２）軸部80

（３）係止部90

なお、取付部材30のの各部は、上記した（１）～（３）に限定されない。

（ファスナー40）

ファスナー40は、図２及び図３に示すように、自動車パネル11と取付部材30の後述する固定部70との間に位置し、両者を連結するものである。

[0024] ファスナー40は、適度な弾性と剛性とを有し、熱可塑性合成樹脂により一体的に成形される。

ファスナー40は、図２及び図３に示すように、大別すると、次の各部を備える。

なお、ファスナー40の各部は、次の（１）～（３）に限定されない。

（１）フランジ部41

フランジ部41は、図２及び図３に示すように、ファスナー40の高さの途中に位置し、円盤形に張り出している。フランジ部41の直径は、自動車パネル11の貫通孔の内径より大きく設定されている。

[0025] （２）ボス部42

ボス部42は、図２及び図３に示すように、フランジ部41の上面から上方に向かって延び、取付部材30の後述する固定部70の溝状の装着部71にはまり込むことで、取付部材30に対して固定されている。

（３）脚部43

脚部43は、図２及び図３に示すように、フランジ部41をはさんでボス部42と反対側に位置し、フランジ部41の下面から下方に向かって延び、自動車パネル11の貫通孔に挿入されることで、自動車パネル11に対して固定される。脚部43は、高さの中央が膨らみ、先端部が細くなった形状に形成され、中央の膨らんだ部分の外径を、自動車パネル11の貫通孔より少し大きく設定して

いる。

[0026] このため、脚部43を自動車パネル11の貫通孔に合わせて挿入すると、貫通孔の内縁部に押され、中央の膨らんだ部分の外径が弾性的に縮径し、貫通孔を通過後、自動車パネル11の下側で、樹脂の弾性力により復元する。このため、中央の膨らんだ部分と、フランジ部41との間で、自動車パネル11をその厚み方向にはさみ持つことで、貫通孔に対してファスナー40が固定される。

（ベース部50）

ベース部50は、図１及び図２に示すように、自動車用ガーニッシュ12と一体若しくは固着されるものである。

[0027] 本実施の形態においては、ベース部50は、図４～６に示すように、板状に形成され、その底面を自動車用ガーニッシュ12の表面に熱溶着している。

なお、ベース部50を、自動車用ガーニッシュ12と別体に形成したが、一体的に形成するようにしても良い。

ベース部50は、図４及び図５に示すように、次の各部を備える。

[0028] なお、ベース部50の各部は、次の（１）に限定されない。

（１）リブ51

リブ51は、図４及び図５に示すように、ベース部50の底面から複数個、突出する。リブ51は、加熱することで、自動車用ガーニッシュ12に溶着する。

（台座本体60）

台座本体60は、図４～９に示すように、ベース部50の上面から枠状に延びる。

[0029] 台座本体60は、図４～９に示すように、次の各部を備える。

なお、台座本体60の各部は、次の（１）～（６）に限定されない。

（１）左側壁61、右側壁62

左側壁61、右側壁62は、図４に示すように、ベース部50の左右方向に離れて位置し、ベース部50の上面から上方に向かって延びる。

[0030] （２）奥壁63

奥壁63は、図９に示すように、ベース部50の前後の幅方向の一端部に位置

し、左側壁61及び右側壁62に隣接し、後述する中空部65の後面を塞ぐものである。

（３）蓋壁64

蓋壁64は、図４に示すように、ベース部50の上面から上方に離れて位置し、左側壁61、右側壁62及び奥壁63に隣接し、後述する中空部65の上面を塞ぐものである。

[0031] （４）中空部65

中空部65は、図４に示すように、ベース部50の上面、左側壁61、右側壁62、奥壁63及び蓋壁64で囲まれた内側に位置し、前面が開放する。

中空部65は、取付部材30の後述する係止部90がはまり込むものであり、中空部65の高さを係止部90の高さより高く設定している。中空部65を係止部90を高く設定しているのは、中空部65の高さ方向において、係止部90を上下動できるようにするためである。

[0032] （４）嵌合溝66、開口67

嵌合溝66は、図４に示すように、蓋壁64を上下方向に貫通し、一端に開口67を有し、略Ｕ字形に形成されている。嵌合溝66の溝幅は、取付部材30の後述する軸部80の直径に略一致させている。

（５）張出部68

張出部68は、図４及び図６に示すように、嵌合溝66と開口67との間に位置し、開口67の開口幅を、取付部材30の後述する軸部80の直径より小さく狭めるものである。

[0033] （６）突起69

突起69は、嵌合溝66の周囲に複数個、例えば４個形成され、蓋壁64の上面から半球形に突出する。突起69は、取付部材30の後述する軸部80を嵌合溝66にはめ込む際に、同じく後述する固定部70と蓋壁64の上面とが接した際に、両者の間の摩擦抵抗を低減するためのものである。

（固定部70）

固定部70は、図１～３に示すように、装着部71を介して自動車パネル11に

固定されるものである。

[0034] 固定部70は、図１０～１２及び図１４に示すように、前面が開放した中空の箱形に形成されている。

固定部70は、図１０～１２及び図１４に示すように、次の各部を備える。

なお、固定部70の各部は、次の（１）及び（２）に限定されない。

（１）装着部71

装着部71は、図２に示すように、ファスナー40を装着するものである。装着部71は、図１０～１２及び図１４に示すように、上下方向に貫通し、一端に開口し、略Ｕ字形の溝状に形成されている。装着部71には、ファスナー40のボス部42がはめ込まれ、ボス部42を介してファスナー40が固定部70に固定される。

[0035] （２）突起72

突起72は、図１０～１２及び図１４に示すように、溝状の装着部71の周囲に複数個、例えば４個形成され、固定部70の上面から半球形に突出する。突起72は、ファスナー40のボス部42を溝状の装着部71にはめ込んだ際に、ボス部42と摺接する。

（軸部80）

軸部80は、図２、図３、図１１及び図１４に示すように、固定部70から軸状に延び、台座20に嵌合するものである。

[0036] 軸部80は、図１１及び図１４に示すように、固定部70の下面の中央から下方に向かって円柱状に延び、その下端部が後述する係止部90の上面の中央に連設する。

（係止部90）

係止部90は、図１及び図１０～１４に示すように、軸部80をはさんで固定部70と反対側に位置し、複数の方向、例えば図１のＡ～Ｄの四方から台座20に対し嵌合可能であり、当該嵌合する方向を変更することにより、軸部80の軸方向の異なる複数の高さ位置、例えば４段階の高さ位置に係止可能なものである。

[0037] なお、係止部90を嵌合する方向として、四方を例示したが、これに限定されず、四方のうち、２方向や３方向、或いは５方向以上としても良い。また、係止部90の高さの調節位置として、４段階を例示したが、これに限定されず、２段階、３段階、或いは５段階以上としても良い。

係止部90は、図１０～１４に示すように、下面及び後面が開放した中空の箱形に形成されている。

[0038] 係止部90は、図１０～１４に示すように、次の各部を備える。

なお、係止部90の各部は、次の（１）～（３）に限定されない。

（１）上壁91

上壁91は、図１１及び図１４に示すように、軸部80の下端部に連設する。

（２）前壁92

前壁92は、図１０～１４に示すように、上壁91の前縁部から下方に向かって延びる。

[0039] （３）左側壁93、右側壁94

左側壁93、右側壁94は、図１０～１４に示すように、上壁91の左右の両側縁部から下方に向かって延び、前壁92に隣接している。

（台座本体60と係止部90との間の高さ調節機構）

台座本体60と係止部90との間には、図１に示すように、軸部80の軸方向の高さを調節するための高さ調節機構を設けている。

[0040] 高さ調節機構は、図１に示すように、大別すると、次の各部を備える。

なお、次の（１）及び（２）については、後述する。

（１）凸部100

（２）凹部120

なお、高さ調節機構は、上記した（１）及び（２）の構造に限定されない。

（凸部100）

凸部100は、図１に示すように、後述する凹部120にはまり込むのであり、台座本体60と係止部90とのどちらか一方、例えば係止部90に形成されている

。

[0041] なお、凸部100を係止部90に形成したが、逆に台座本体60側に形成しても良い。

凸部100は、図１０～１４に示すように、複数個、例えば計４個の、後述する片101～104から構成され、４個の片101～104は、異なる複数の方向に向かって突出するとともに、軸部80の軸方向の高さを互いに異ならせている。

なお、凸部100を、４個の片101～104から構成したが、２個、３個或いは５個以上の片から構成しても良い。

[0042] 凸部100は、図１０～１４に示すように、舌片状に突出し、横方向に長い板状に形成されている。

凸部100は、図１０～１４に示すように、次の各片101～104から構成されている。

なお、凸部100の各片101～104は、次の（１）～（４）に限定されない。

（１）前片101

前片101は、図１０～１４に示すように、前壁92から外向きに突出する。前片101は、前壁92の左右の長さ方向の中央で、且つ高さの中央に位置する。

[0043] （２）後片102

後片102は、図１２～１４に示すように、上壁91の後縁部から外向きに突出する。後片102は、上壁91の左右の長さ方向の中央に位置し、前片101と比較して上側、すなわち上段に位置する。

（３）左片103

左片103は、図１０～１３に示すように、左側壁93から外向きに突出する。左片103は、左側壁93の後側に位置し、前片101と同様に上段に位置する。

[0044] （４）右片104

右片104は、図１０～１３に示すように、右側壁94から外向きに突出する。右片104は、右側壁94の前側に位置し、前片101と比較して下側、すなわち下段に位置する。

（凹部120）

凹部120は、図１に示すように、凸部100にはまり合うものであり、台座本体60と係止部90とのどちらか他方、例えば台座本体60に形成されている。

[0045] なお、凹部120を台座本体60に形成したが、逆に係止部90側に形成しても良い。

凹部120は、図８及び図９に示すように、大別すると、次の各部から構成されている。

なお、次の（１）及び（２）については、後述する。

（１）穴部130

（２）溝部140

なお、凹部120の各部は、上記した（１）及び（２）に限定されず、いずれか一方のみから凹部120を構成しても良い。

（穴部130）

穴部130は、図８及び図９に示すように、台座本体60の奥壁63に貫通状に形成され、係止部90の各片101～104がはまり込むものである。

[0046] 穴部130は、図８及び図９に示すように、大別すると、次の各穴131～136から構成されている。

なお、穴部130の穴131～136は、次の（１）～（６）に限定されず、又、個数も６個に限定されない。

（１）中上穴131

中上穴131は、図８及び図９に示すように、台座本体60の奥壁63の左右の長さ方向の中央で、且つ高さの方向の上側に位置する。

[0047] （２）中下穴132

中下穴132は、図８及び図９に示すように、中上穴131の下側に位置する。

（３）左上穴133

左上穴133は、図８に示すように、中上穴131の左側に位置し、当該中上穴131より上方に位置する。

[0048] （４）左下穴134

左下穴134は、図８に示すように、左上穴133の下側に位置し、中上穴131と

中下穴132との中間に位置する。

（５）右上穴135

右上穴135は、図８に示すように、中上穴131の右側に位置し、左上穴133と同じ高さに位置する。

[0049] （６）右下穴136

右下穴136は、図８に示すように、右上穴135の下側に位置し、左下穴134と同じ高さに位置する。

（溝部140）

溝部140は、図８及び図９に示すように、左側壁93と右側壁94の相対向する内側面にそれぞれ形成され、左側壁93及び右側壁94の前後方向に長く形成されている。

[0050] 溝部140は、図８及び図９に示すように、大別すると、次の各溝141～146から構成されている。

なお、穴部130の溝141～146は、次の（１）～（６）に限定されず、又、個数も６個に限定されない。

（１）左上溝141

左上溝141は、図８及び図９に示すように、左側壁93の上方に位置する。

[0051] （２）左中溝142

左中溝142は、図８及び図９に示すように、左上溝141の下側に位置する。

（３）左下溝143

左下溝143は、図８及び図９に示すように、左中溝142の下側に位置する。

（４）右上溝144

右上溝144は、図８に示すように、右側壁94の上方に位置し、左上溝141と同じ高さに位置する。

[0052] （５）右中溝145

右中溝145は、図８に示すように、右上溝144の下側に位置し、左中溝142と左下溝143との間に位置する。

（６）右下溝146

右下溝146は、図８に示すように、右中溝145の下側に位置し、左下溝143より少し高い位置に位置する。

（ブラケット10の取付方法）

上記した構成を有するブラケット10の取付方法について説明する。

[0053] 台座20は、図２に示すように、そのベース部50の底面を、自動車用ガーニッシュ12の表面に熱溶着する。

ファスナー40は、図２及び図３に示すように、そのボス部42を取付部材30の固定部70の装着部71にはめ込み、ファスナー40を取付部材30に固定する。

その後、取付部材30の軸部80を、図１～３に示すように、台座20の開口67に合わせてはめ込み、嵌合溝66内に位置させる。このとき、取付部材30の係止部90を、台座20の中空部65の開放面から内部にはめ込む。

[0054] 取付部材30を台座20に組み付けることで、ブラケット10を介して自動車用ガーニッシュ12にファスナー40が固定される。

最後に、ファスナー40の脚部43を、図２に示すように、自動車パネル11の貫通孔に挿入する。

これにより、自動車用ガーニッシュ12は、ファスナー40ブラケット10を介して、自動車パネル11に固定される。

[0055] なお、ファスナー40を、取付部材30に取り付けてから、当該取付部材30を台座20にはめ込み、最後にファスナー40を自動車パネル11に固定したが、この取付手順に限定されず、ファスナー40を取り付けることなしに、取付部材30を台座20にはめ込み、その後、ファスナー40を取り付けても良いし、或いはファスナー40を自動車パネル11に固定した後、取付部材30に取り付け、当該取付部材30を最後に台座20にはめ込んでも良いし、又、取付部材30を台座20にはめ込んだ後、当該取付部材30に最後にファスナー40を取り付けても良い。

（係止部90の組み付け方向）

つぎに、係止部90の組み付け方向Ａ～Ｄと、台座20のベース部50の底面から取付部材30の固定部70の上面迄の高さａ～ｄとの関係について、図１及び

図１５～２６を用いて説明する。

（図１のＡ方向）

係止部90を、図１のＡ方向から組み付けた場合には、図１６に示すベース部50から固定部70迄の高さａが最も低くなる。

[0056] このとき、係止部90の右片104は、図１６に示すように、台座20の左側壁61の左下溝143にはまり込む。係止部90の左片103は、台座20の右側壁62の右中溝145にはまり込む。係止部90の前片101は、図１７に示すように、台座20の中下穴132にはまり込む。

（図１のＢ方向）

係止部90を、図１のＢ方向から組み付けた場合には、図１９に示すベース部50から固定部70迄の高さｂが二番目に低くなる。

[0057] このとき、係止部90の左片103は、図１９に示すように、台座20の左側壁61の左中溝142にはまり込む。係止部90の右片104は、台座20の右側壁62の右下溝146にはまり込む。係止部90の後片102は、図２０に示すように、台座20の中上穴131にはまり込む。

（図１のＣ方向）

係止部90を、図１のＣ方向から組み付けた場合には、図２２に示すベース部50から固定部70迄の高さｃが三番目に低くなる。

[0058] このとき、係止部90の後片102は、図２２に示すように、台座20の左側壁61の左上溝141にはまり込む。係止部90の前片101は、台座20の右側壁62の右中溝145にはまり込む。係止部90の右片104は、図２３に示すように、台座20の右下穴136にはまり込む。

（図１のＤ方向）

係止部90を、図１のＤ方向から組み付けた場合には、図２５に示すベース部50から固定部70迄の高さｃが最も高くなる。

[0059] このとき、係止部90の前片101は、図２５に示すように、台座20の左側壁61の左中溝142にはまり込む。係止部90の後片102は、台座20の右側壁62の右上溝144にはまり込む。係止部90の左片103は、図２３に示すように、台座20の

右上穴135にはまり込む。

２０１０年１２月１４日に出願された日本特許出願第２０１０－２７８１４３号の明細書、特許請求の範囲、図面及び要約書の全内容をここに引用し、本発明の明細書の開示として、取り入れるものである。

請求の範囲

[請求項1] 自動車用ガーニッシュと一体若しくは固着されるベース部を有する台座と、

ファスナーを介して自動車パネルに固定される固定部、前記固定部から軸状に延び、前記台座に嵌合する軸部、前記軸部をはさんで前記固定部と反対側に位置し、複数の方向から前記台座に対し嵌合可能であり、当該嵌合する方向を変更することにより、前記軸部の軸方向の異なる複数の高さ位置に係止可能な係止部を有する取付部材とを備えていることを特徴とするブラケット。

[請求項2] 前記係止部と前記台座との両対向面のどちらか一方には、

他方に向かって突出した凸部を形成し、

他方には、

前記凸部にはまり合う凹部を形成し、

前記凸部と前記凹部とは、

前記軸部の軸方向の高さを略一致させていることを特徴とする請求項１に記載のブラケット。

[請求項3] 前記凸部は、

前記係止部と前記台座との両対向面のどちらか一方に複数個形成され、

前記複数個の凸部は、

異なる複数の方向に向かって突出するとともに、

前記軸部の軸方向の高さを互いに異ならせていることを特徴とする請求項２に記載のブラケット。

[請求項4] 前記凹部は、

前記係止部と前記台座との両対向面のどちらか他方に複数個形成され、

前記複数個の凹部は、

前記軸部の軸方向の高さを互いに異ならせていることを特徴とする

請求項２又は請求項３に記載のブラケット。

［請求項5］ 前記固定部は、

前記ファスナーを装着する装着部が設けられていることを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載のブラケット。

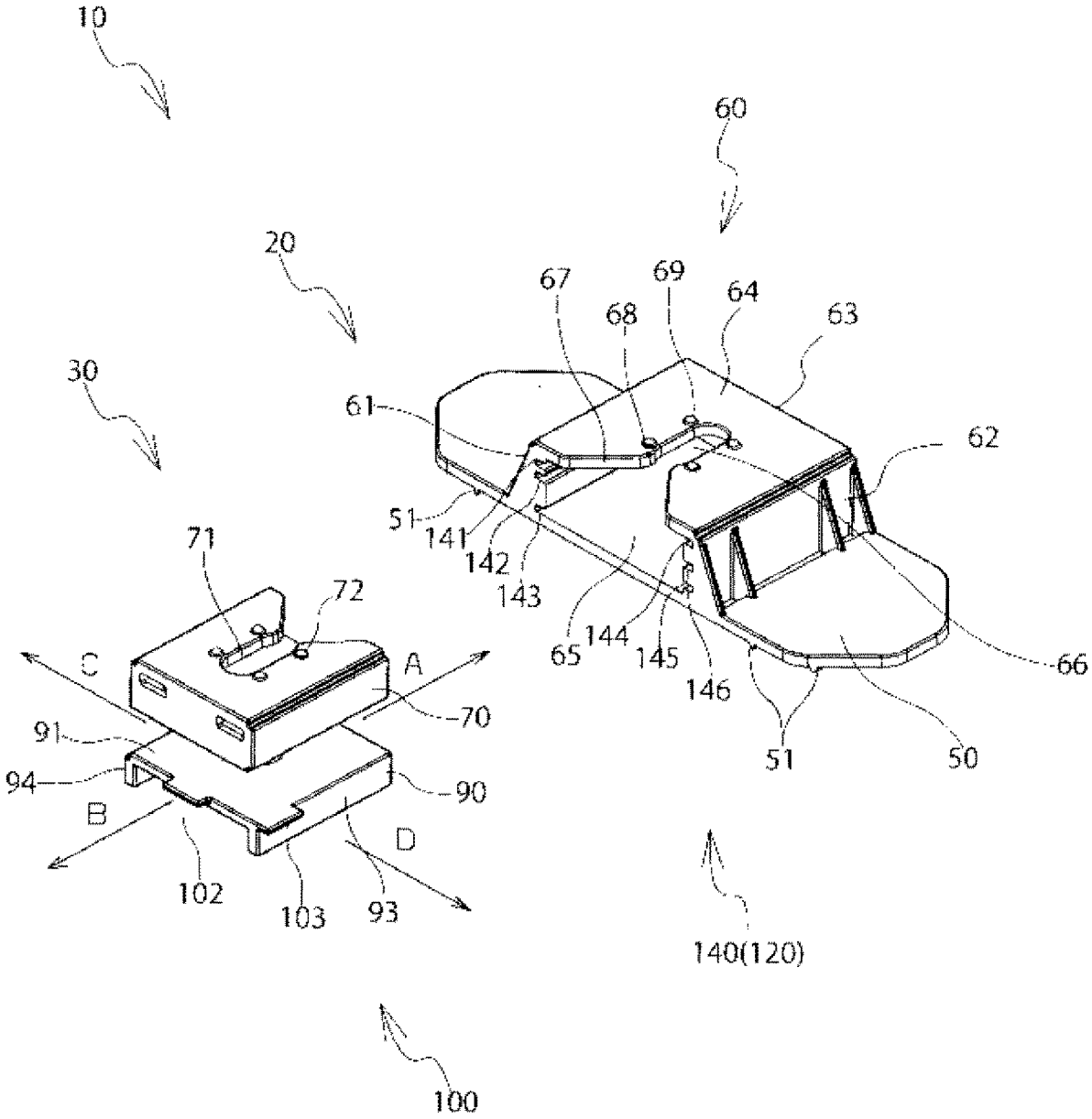
［請求項6］ 前記台座には、

前記軸部を受け入れ可能な開口を有する嵌合溝を形成し、

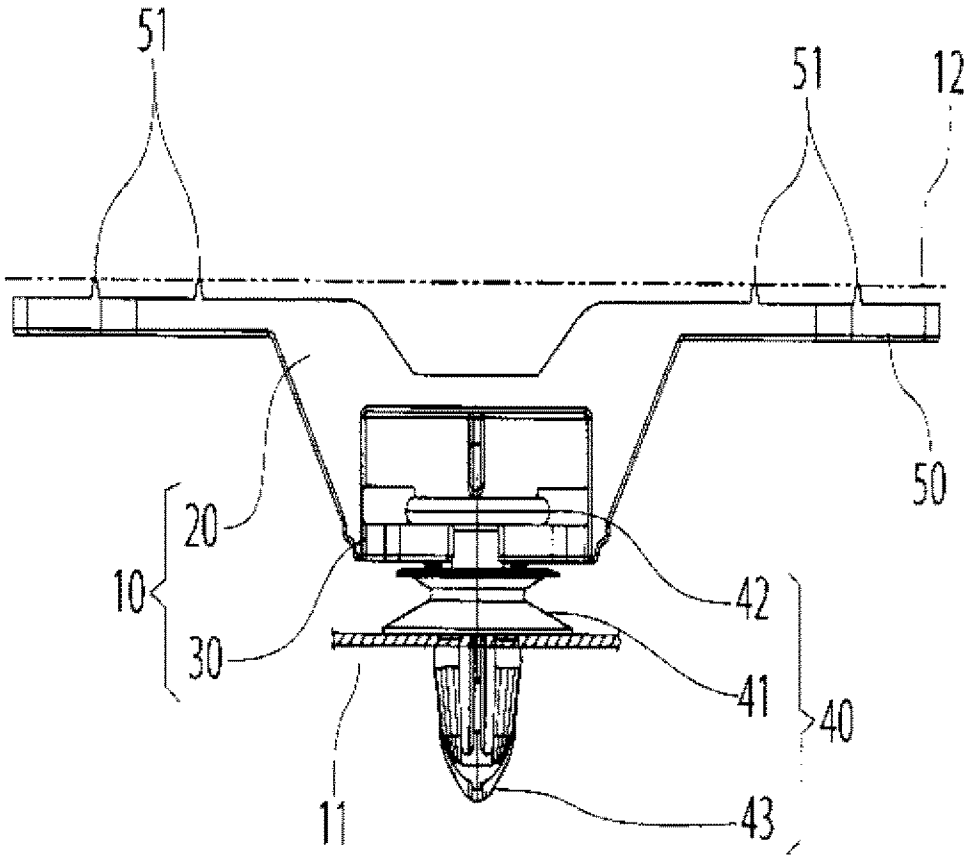
前記開口の幅を、前記軸部の直径より小さく設定し、

前記台座の弾性を利用して前記軸部を前記嵌合溝にはめ込むようにしていることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のブラケット。

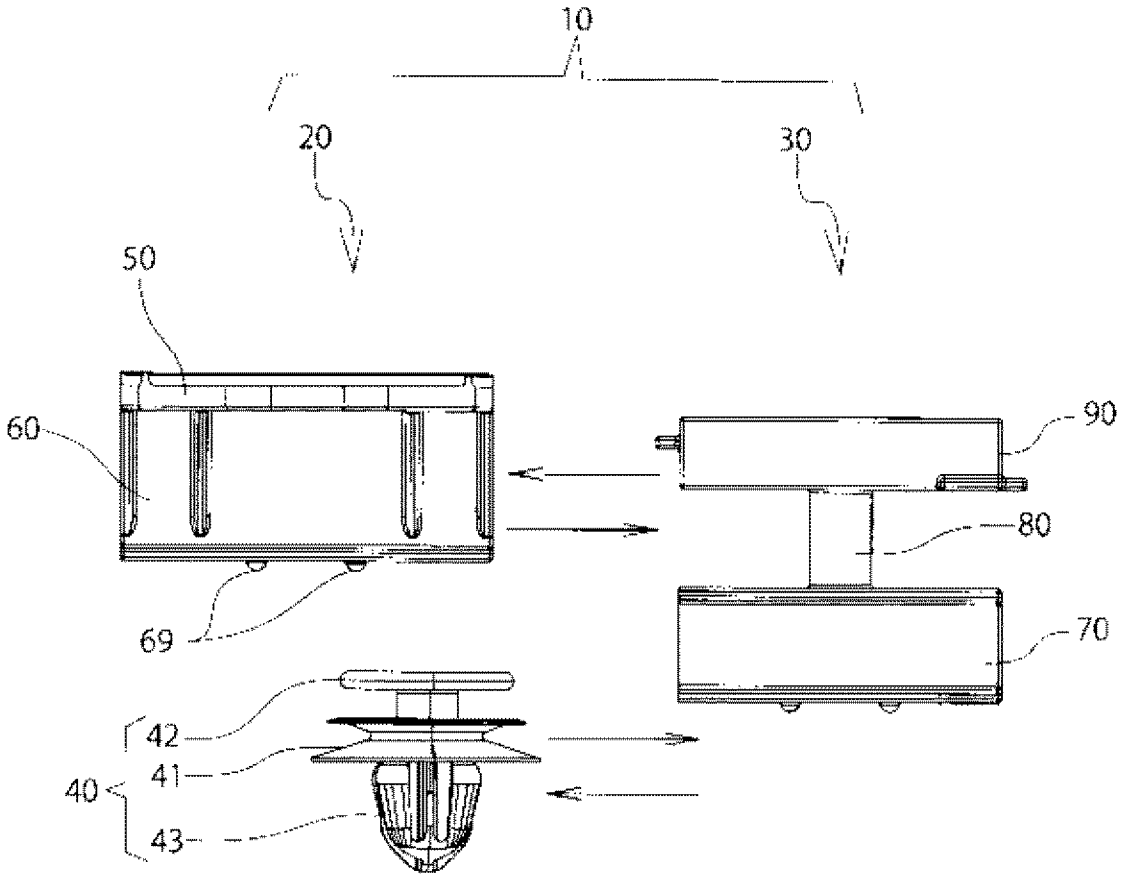
[図1]


10
60
20
67
69
64
63
68
30
61
62
51
141
142
143
71
72
65
144
145
146
66
C
A
70
91
51
50
94
90
B
D
102
103
93
140(120)
100

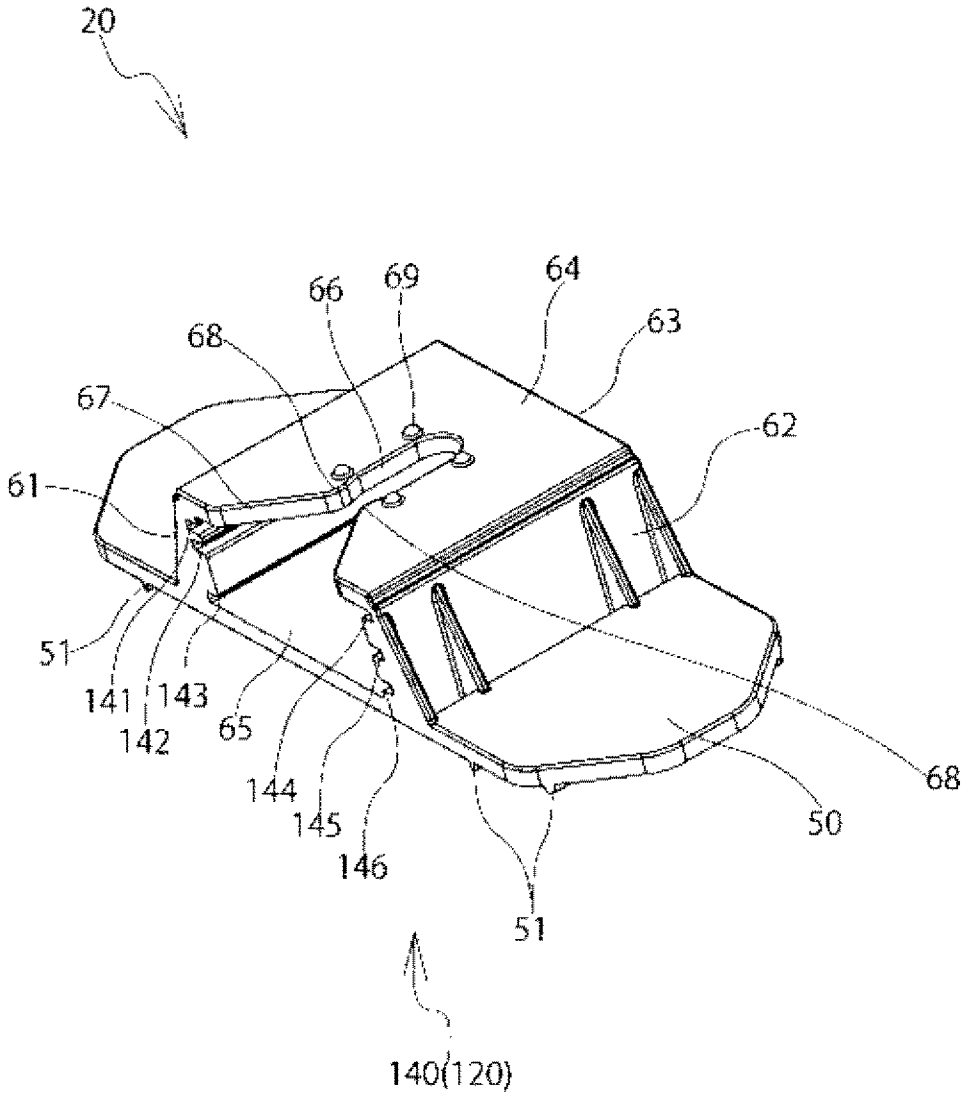
[図2]



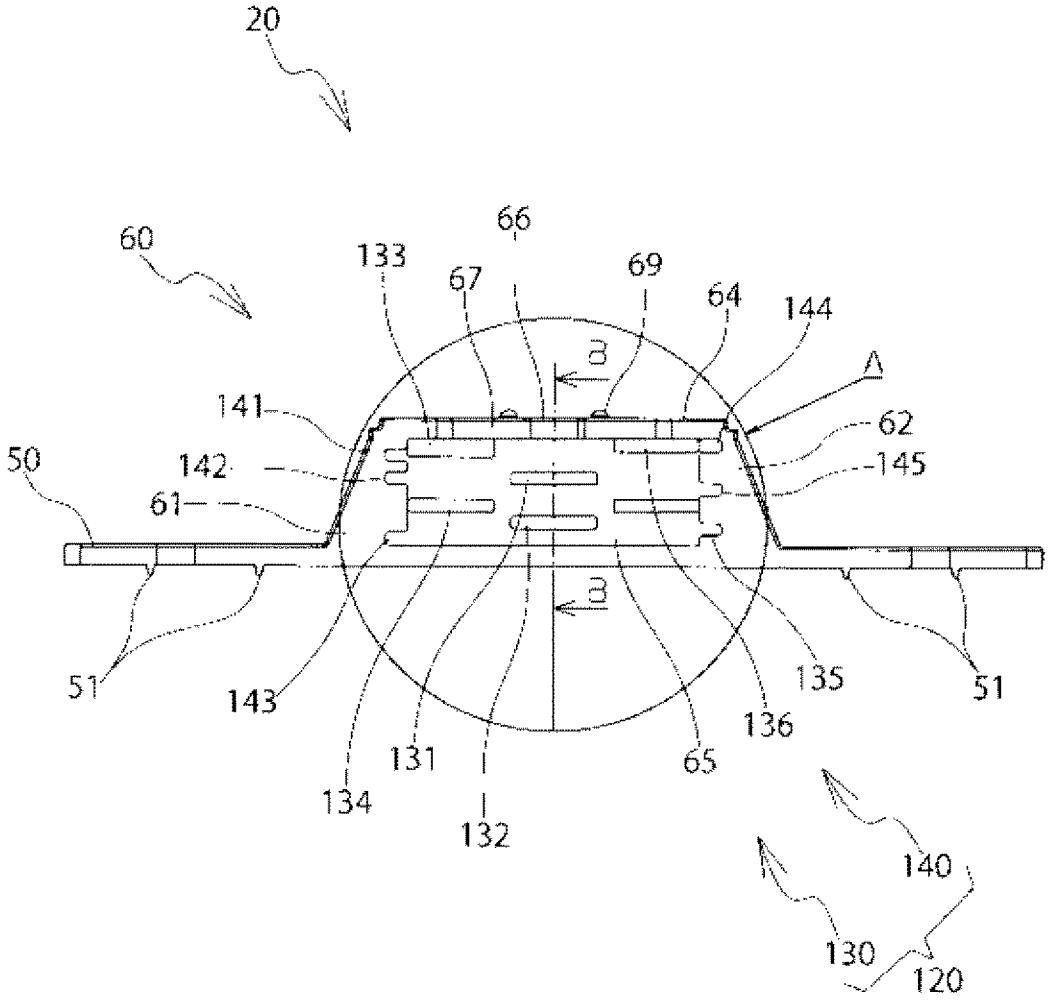
[図3]



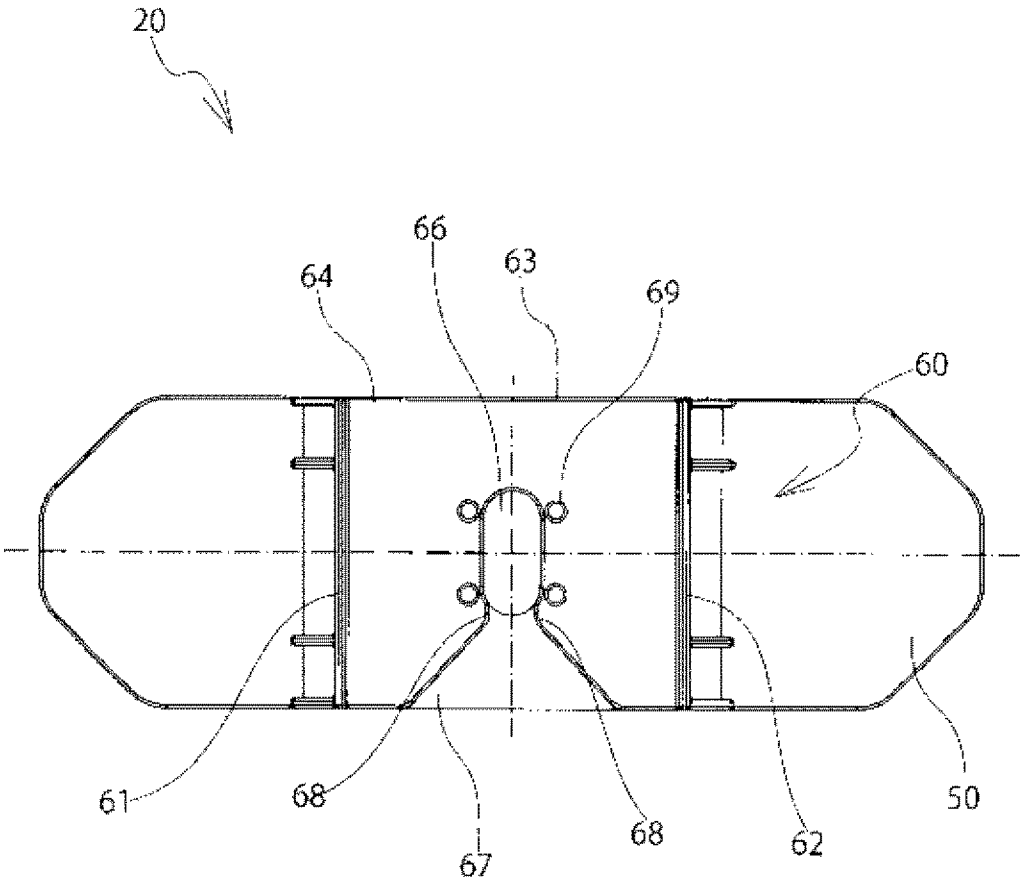
[図4]


20
66
69
64
68
63
67
62
61
68
51
141
143
142
65
144
145
146
50
51
140(120)

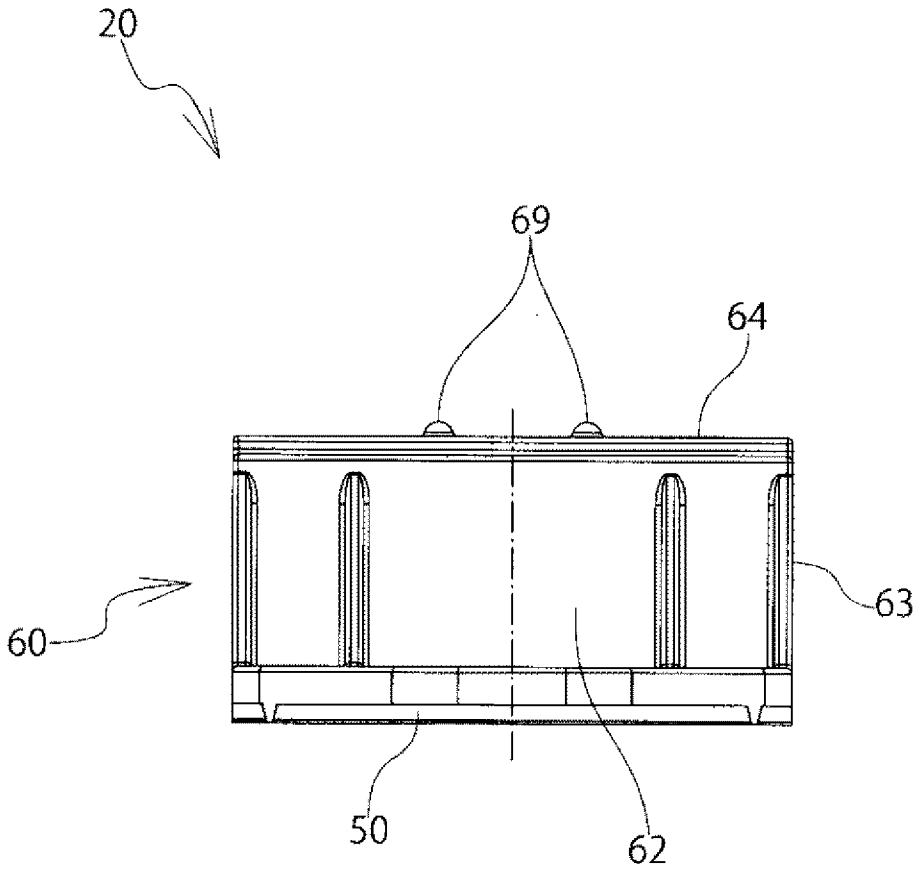
[図5]


20
60
66
133
67
69
64
144
A
141
62
50
142
145
61
B
B
51
143
135
51
136
131
65
134
132
140
130
120

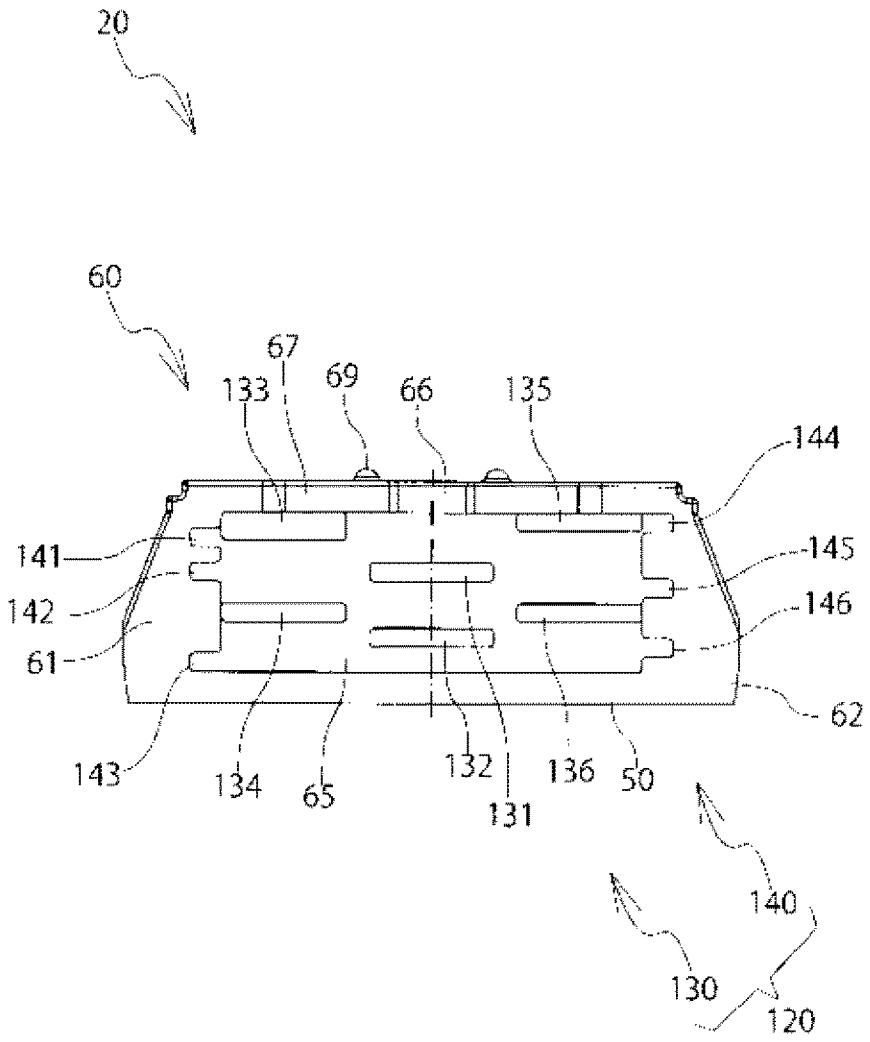
[図6]



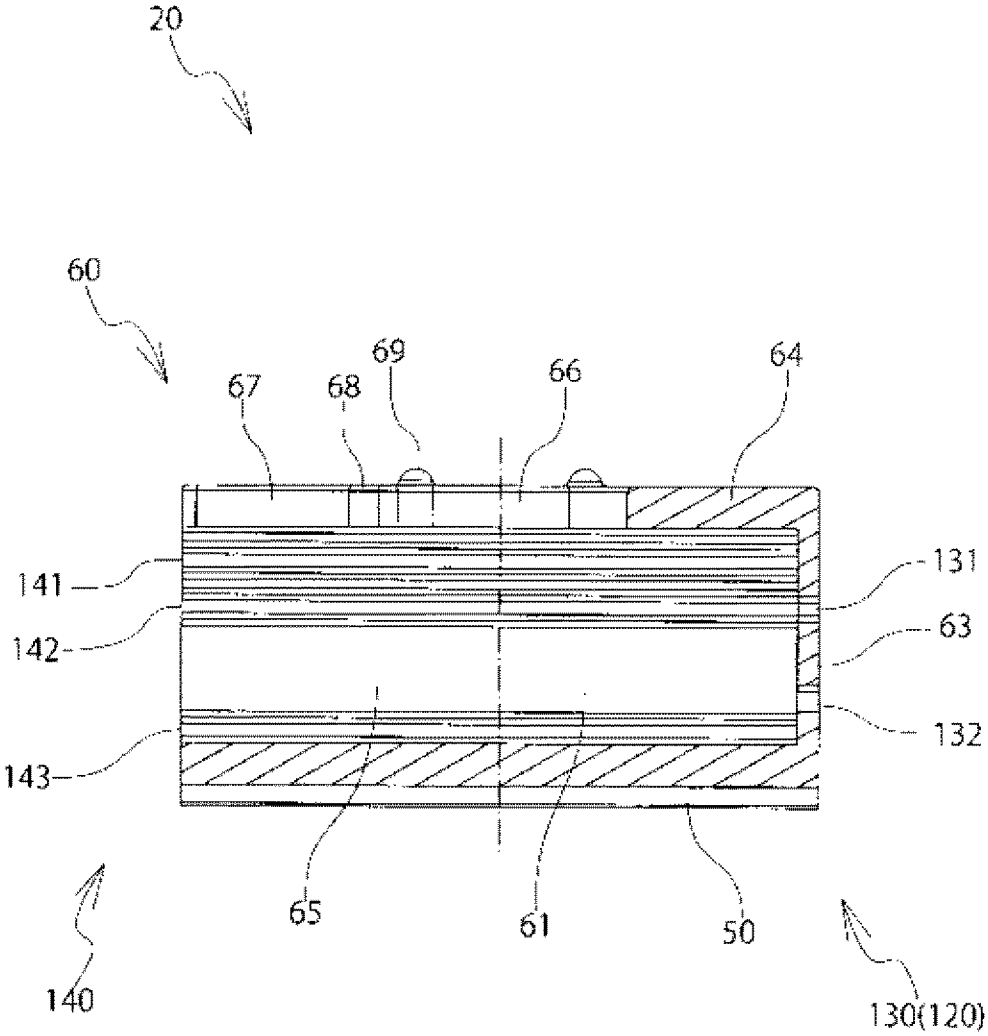
[図7]



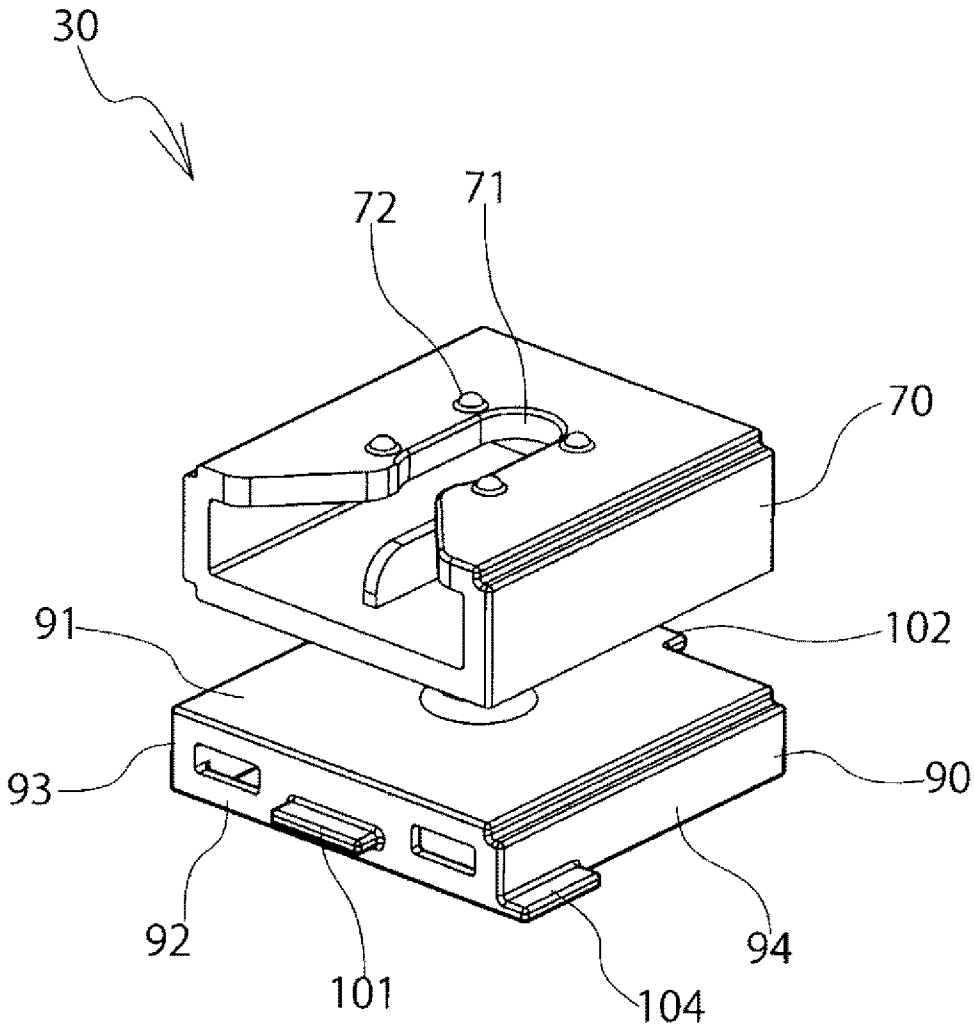
[図8]


20
60
67
133
69
66
135
144
141
145
142
146
61
62
143
134
65
132
131
136
50
140
130
120

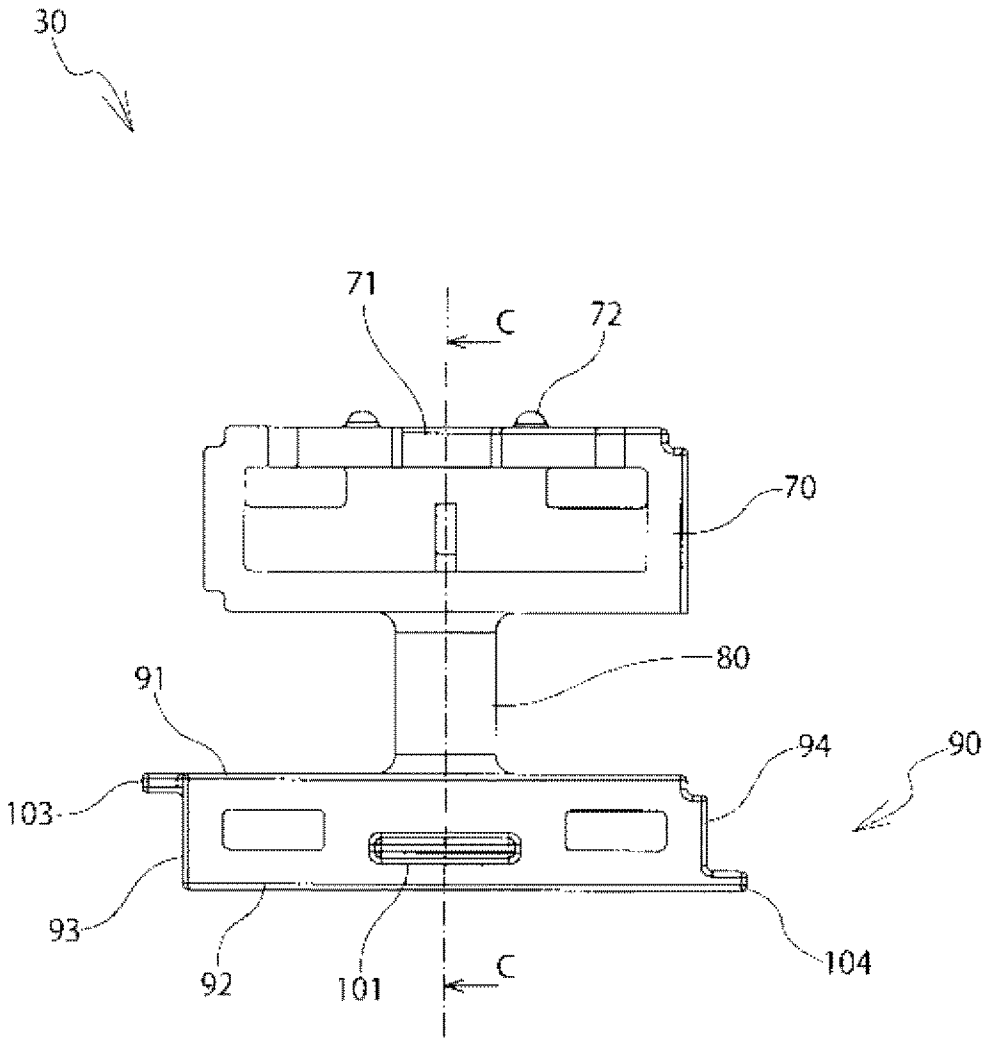
[図9]



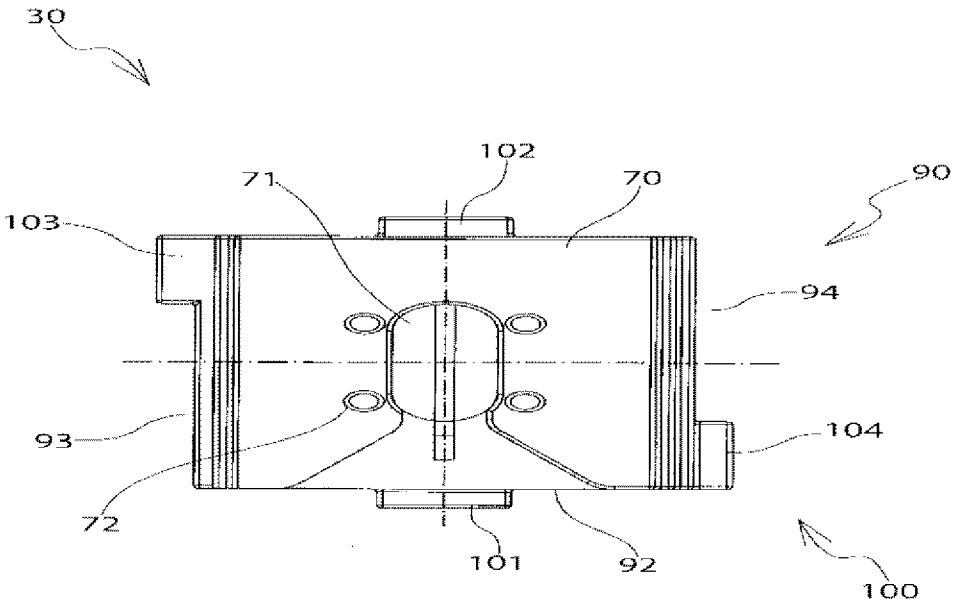
[図10]



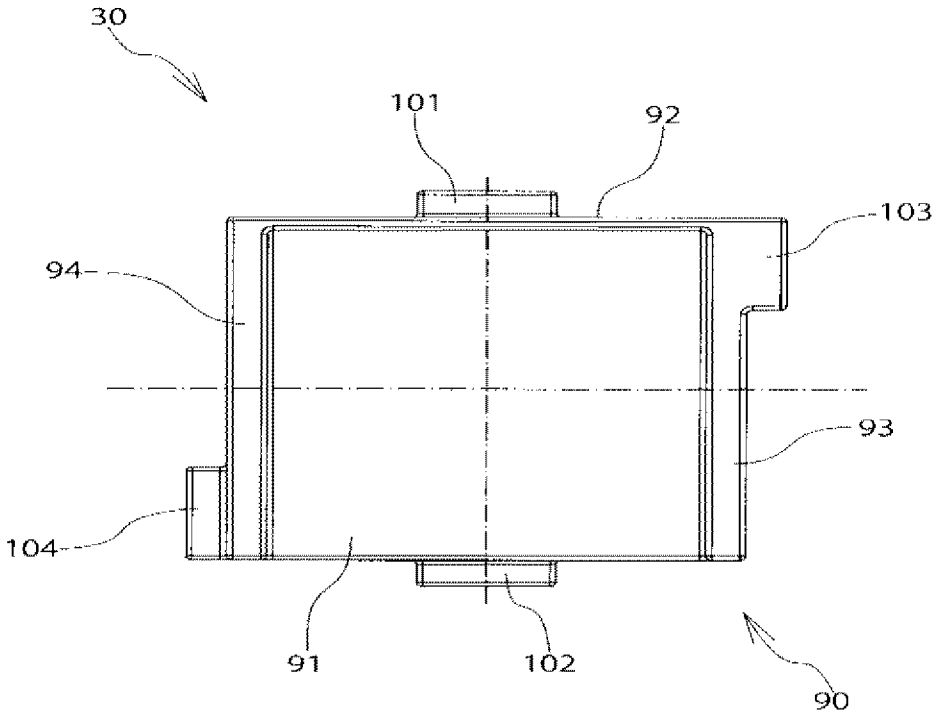
[図11]


30
71
C
72
70
80
91
94
90
103
93
92
101
C
104

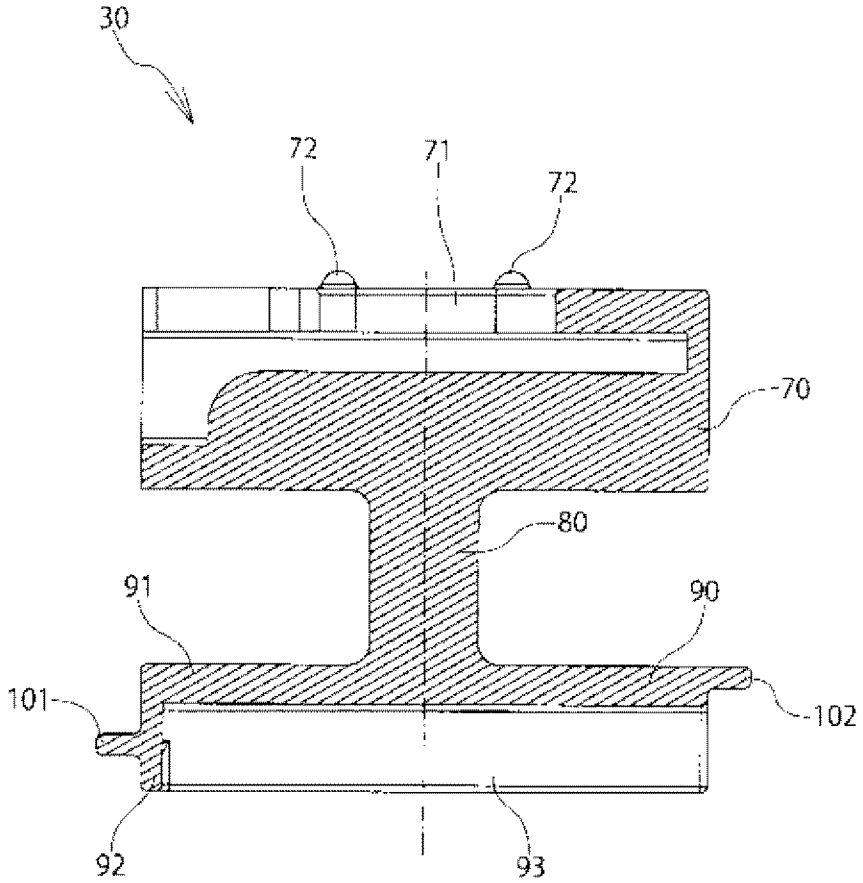
[図12]


30
102
71
70
90
103
94
93
104
72
101
92
100

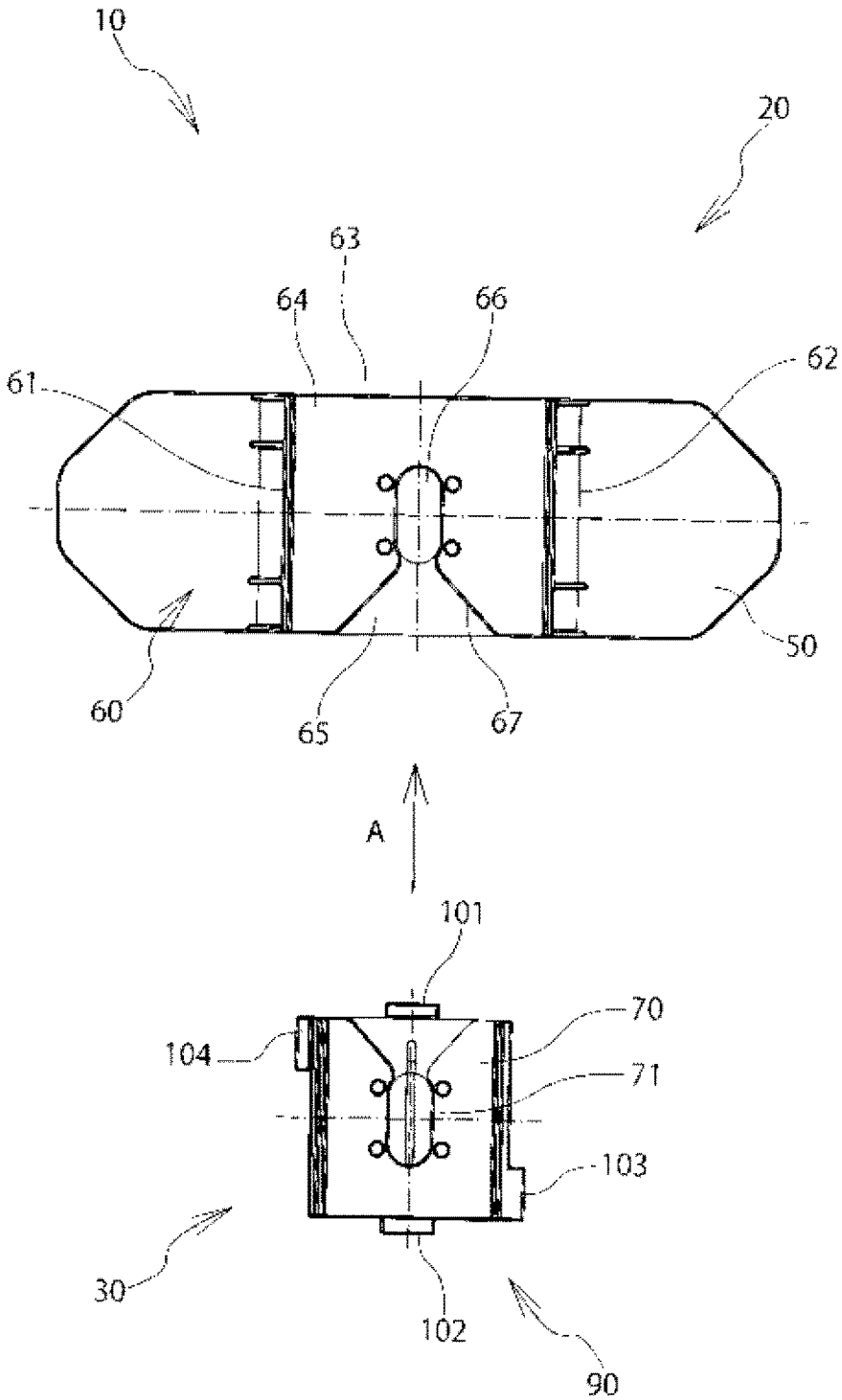
[図13]


30
101
92
103
94
93
104
91
102
90

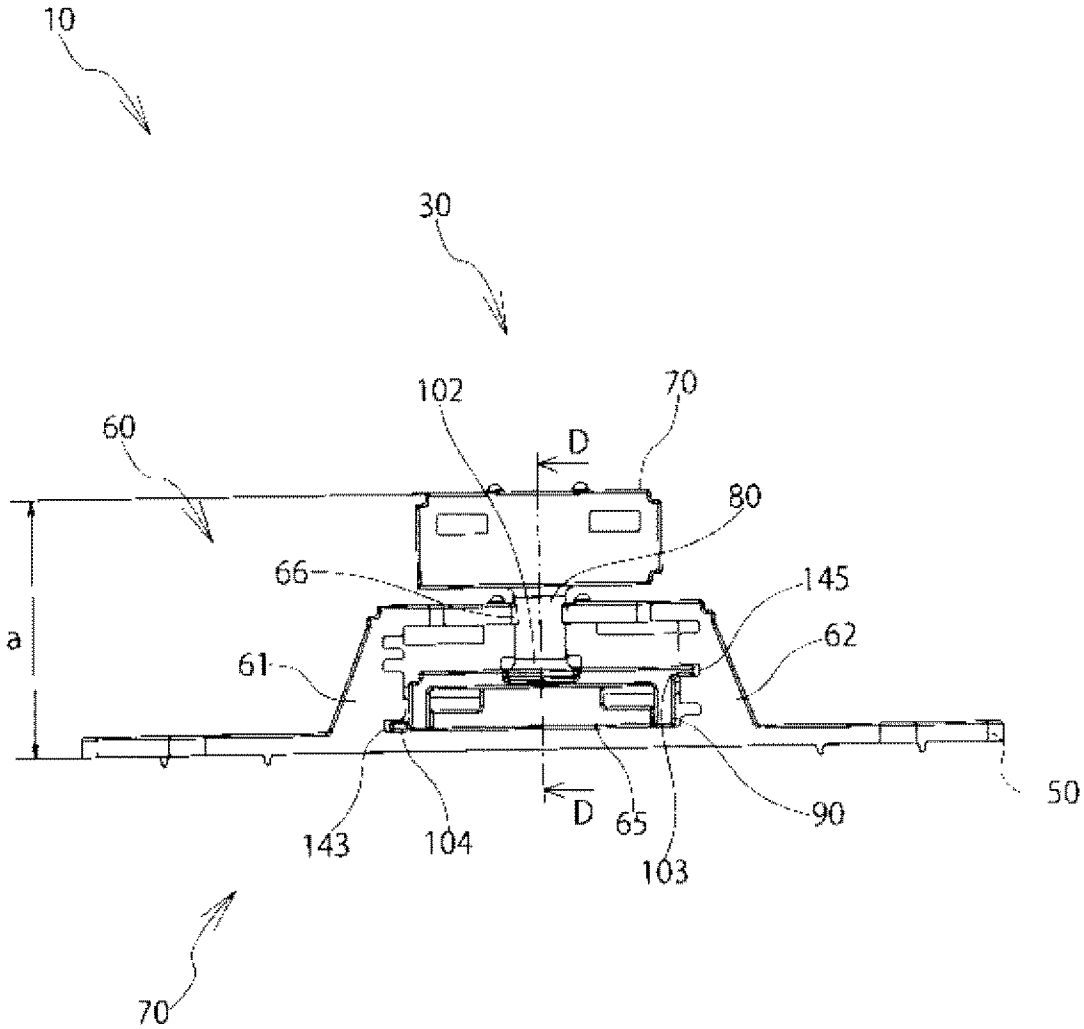
[図14]


30
72
71
72
70
80
91
90
101
102
92
93

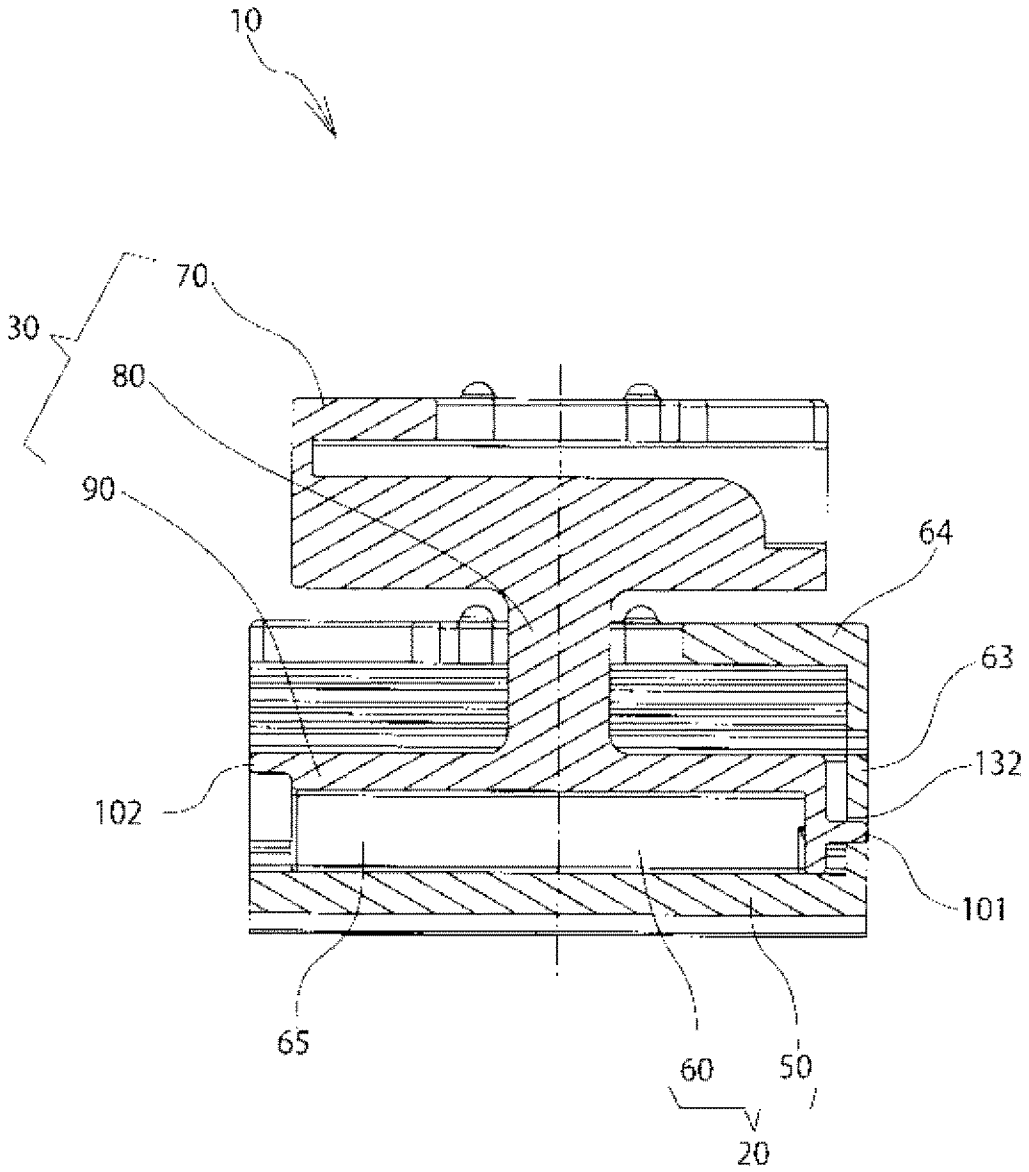
[図15]



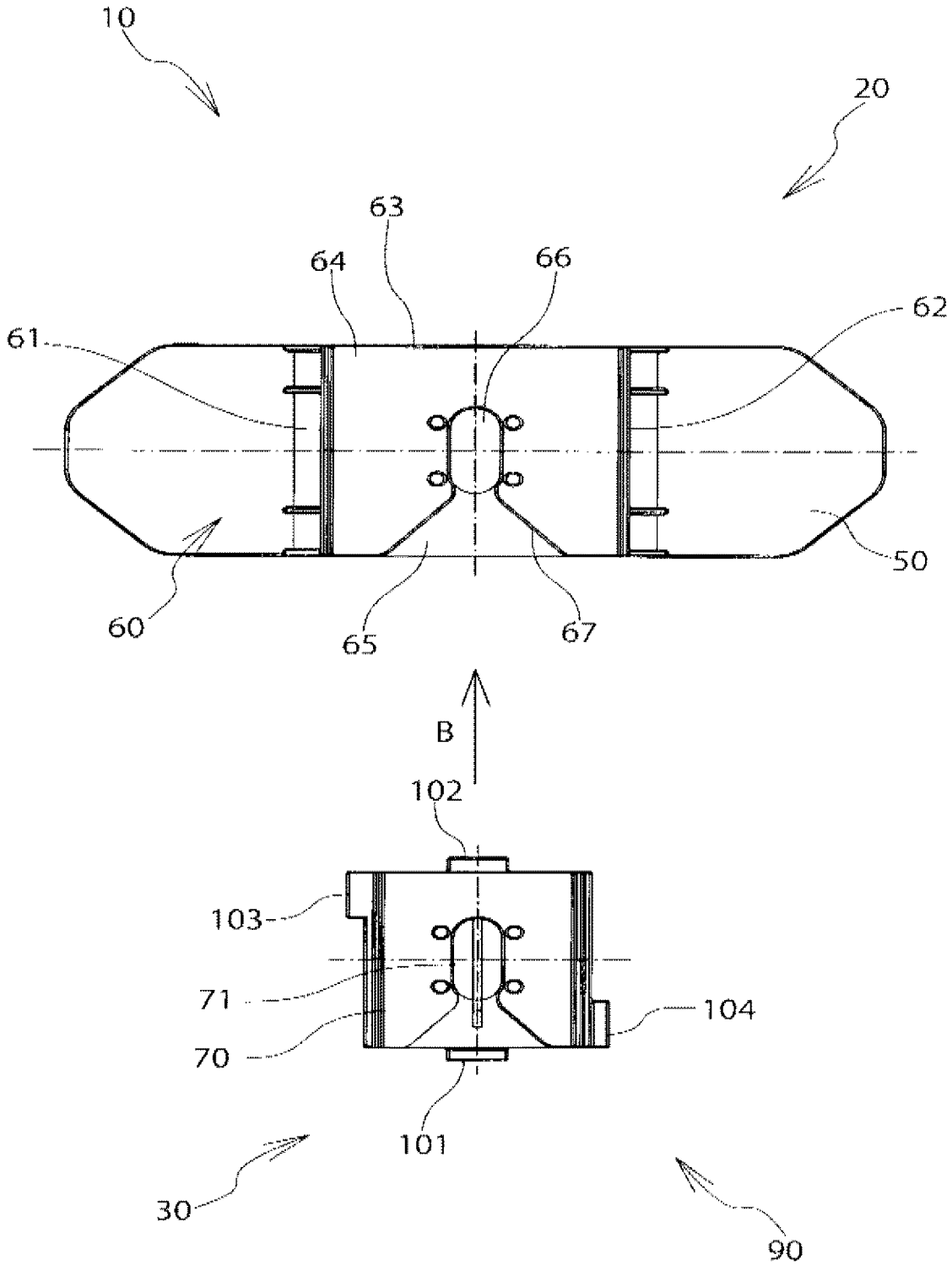
[図16]



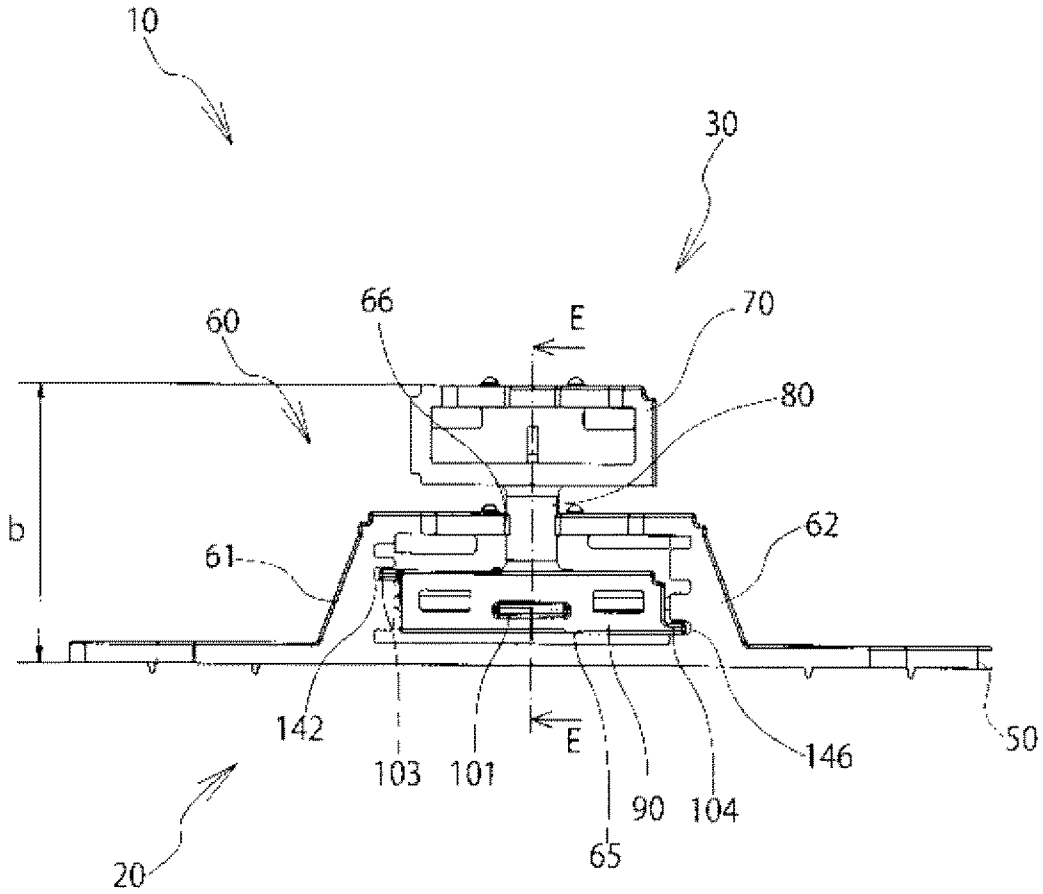
[図17]



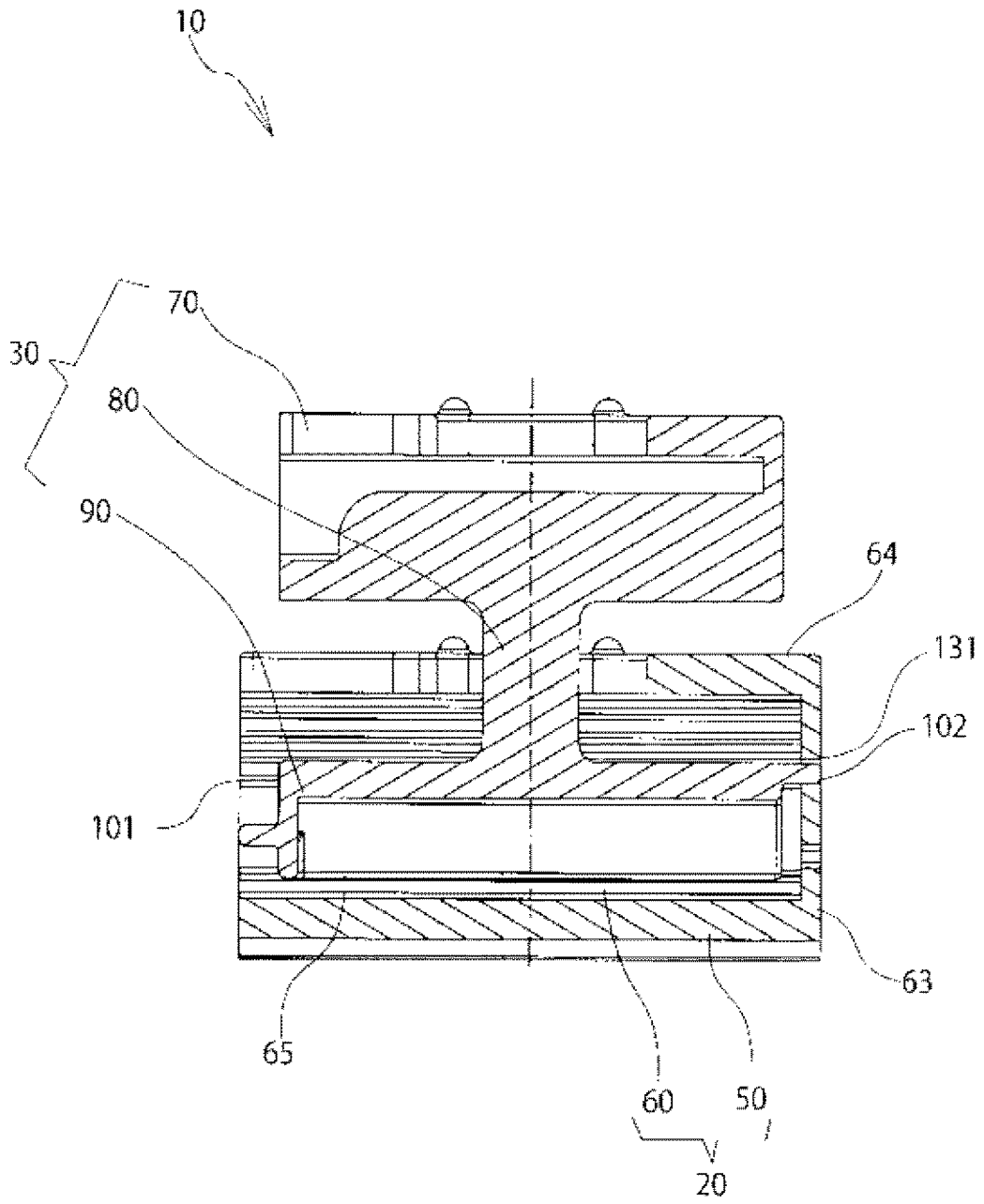
[図18]



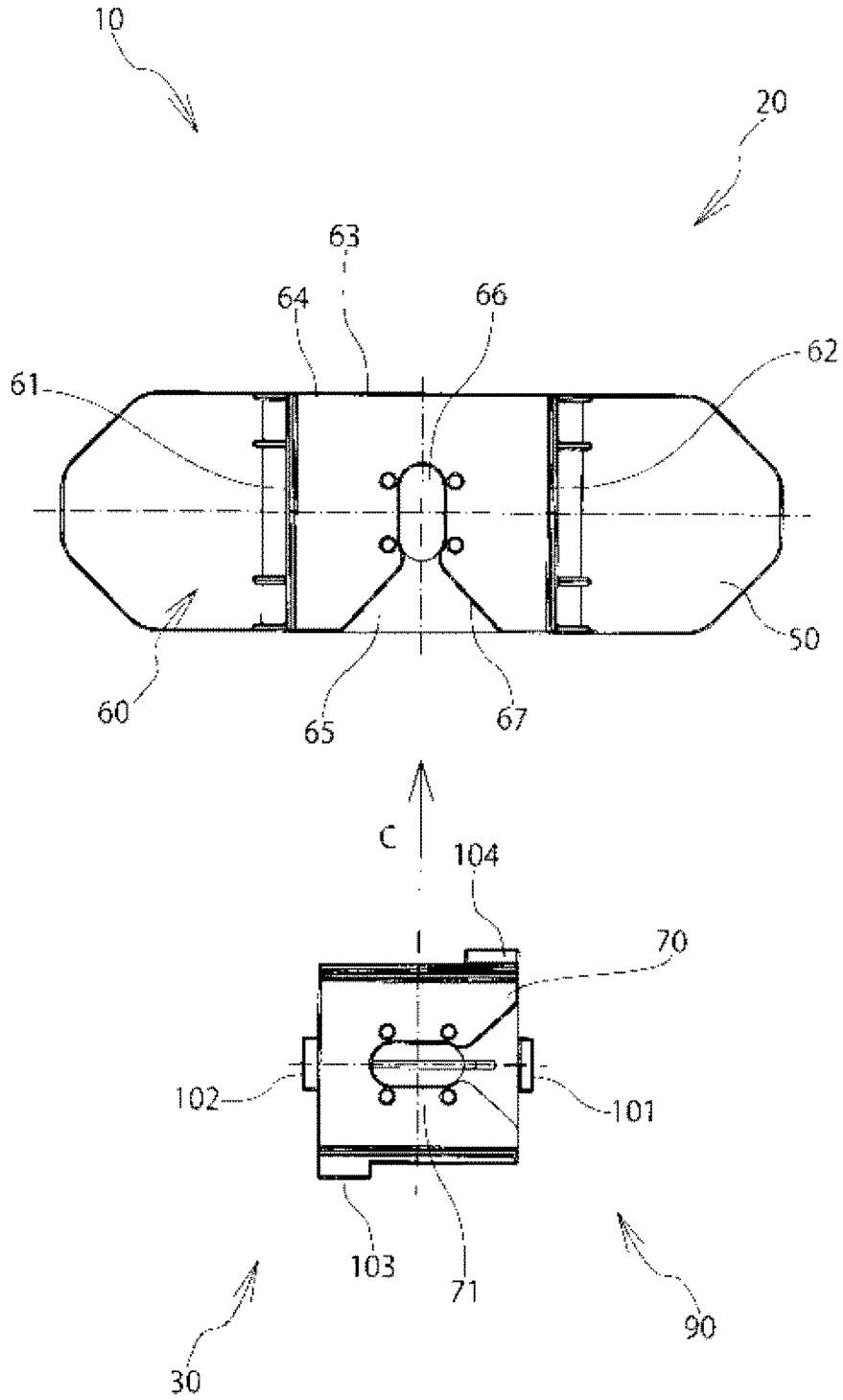
[図19]



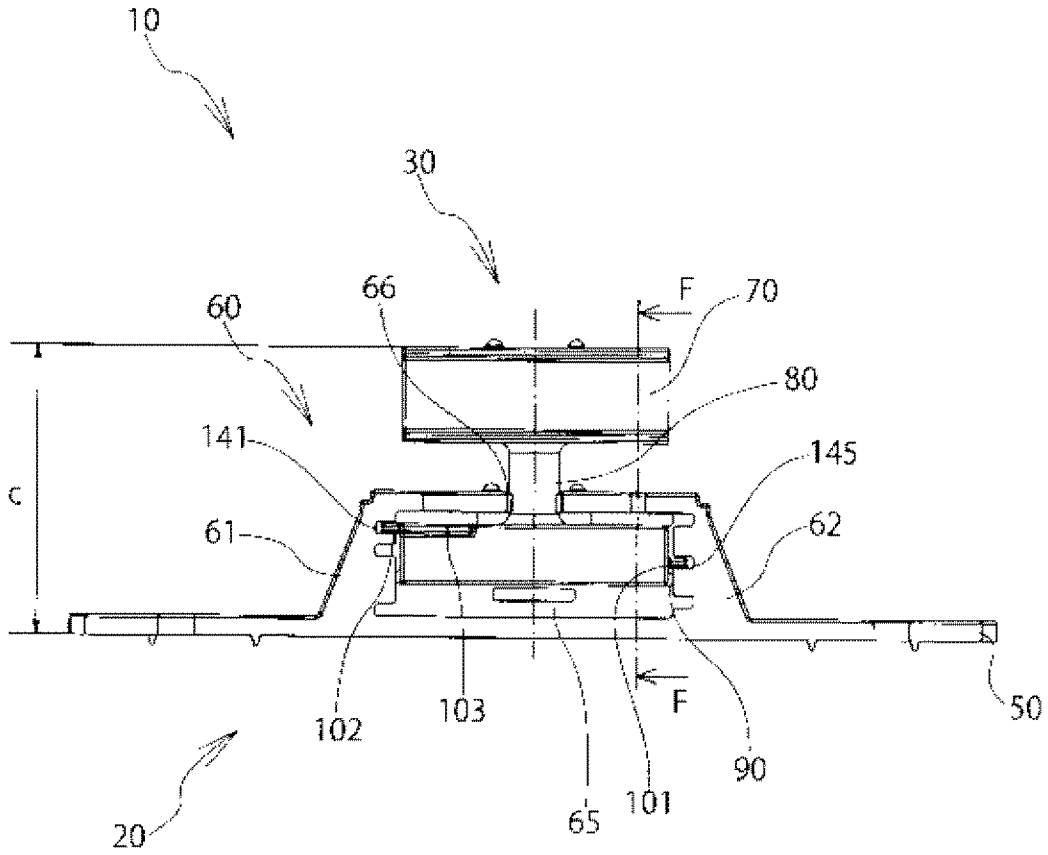
[図20]



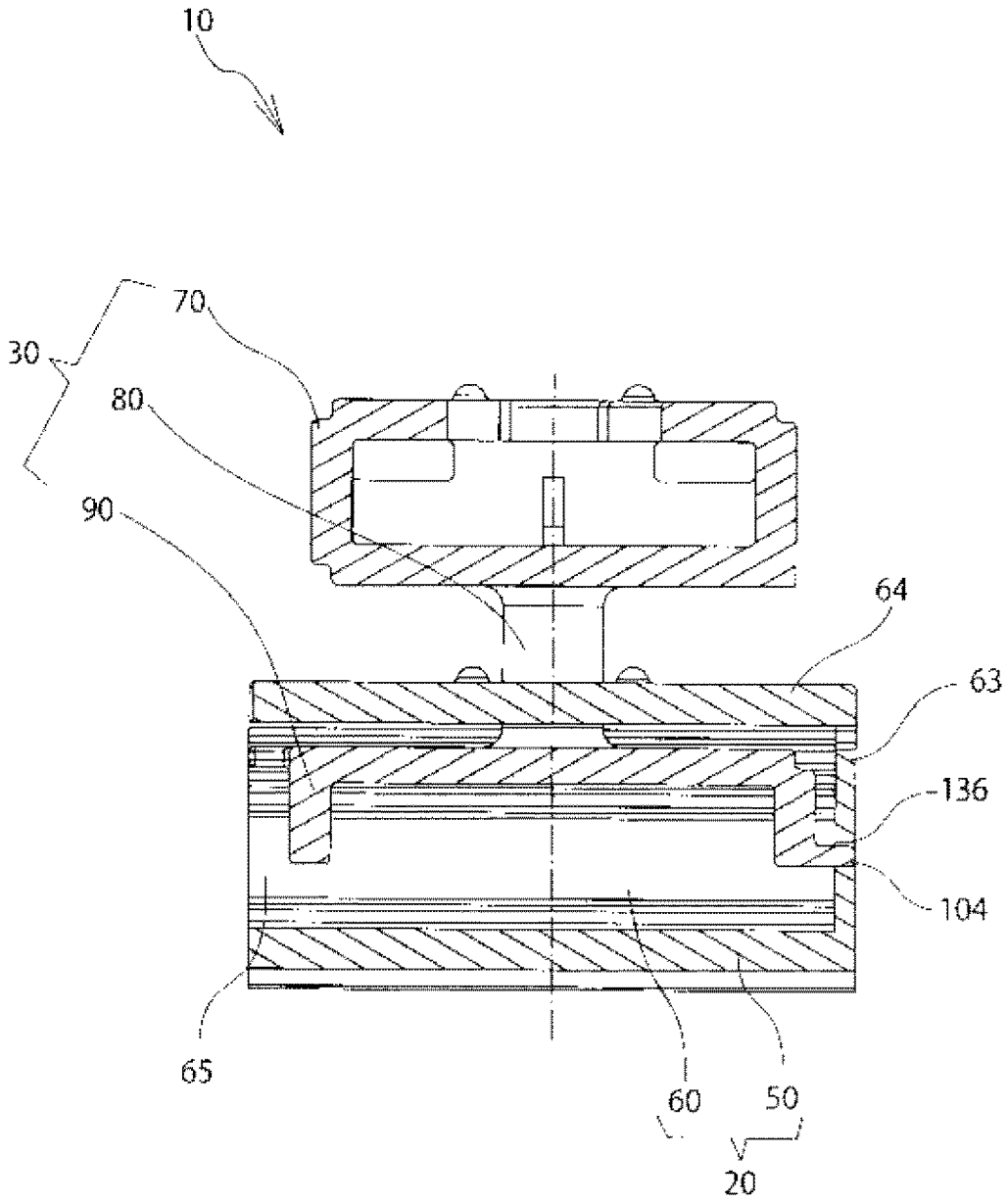
[図21]



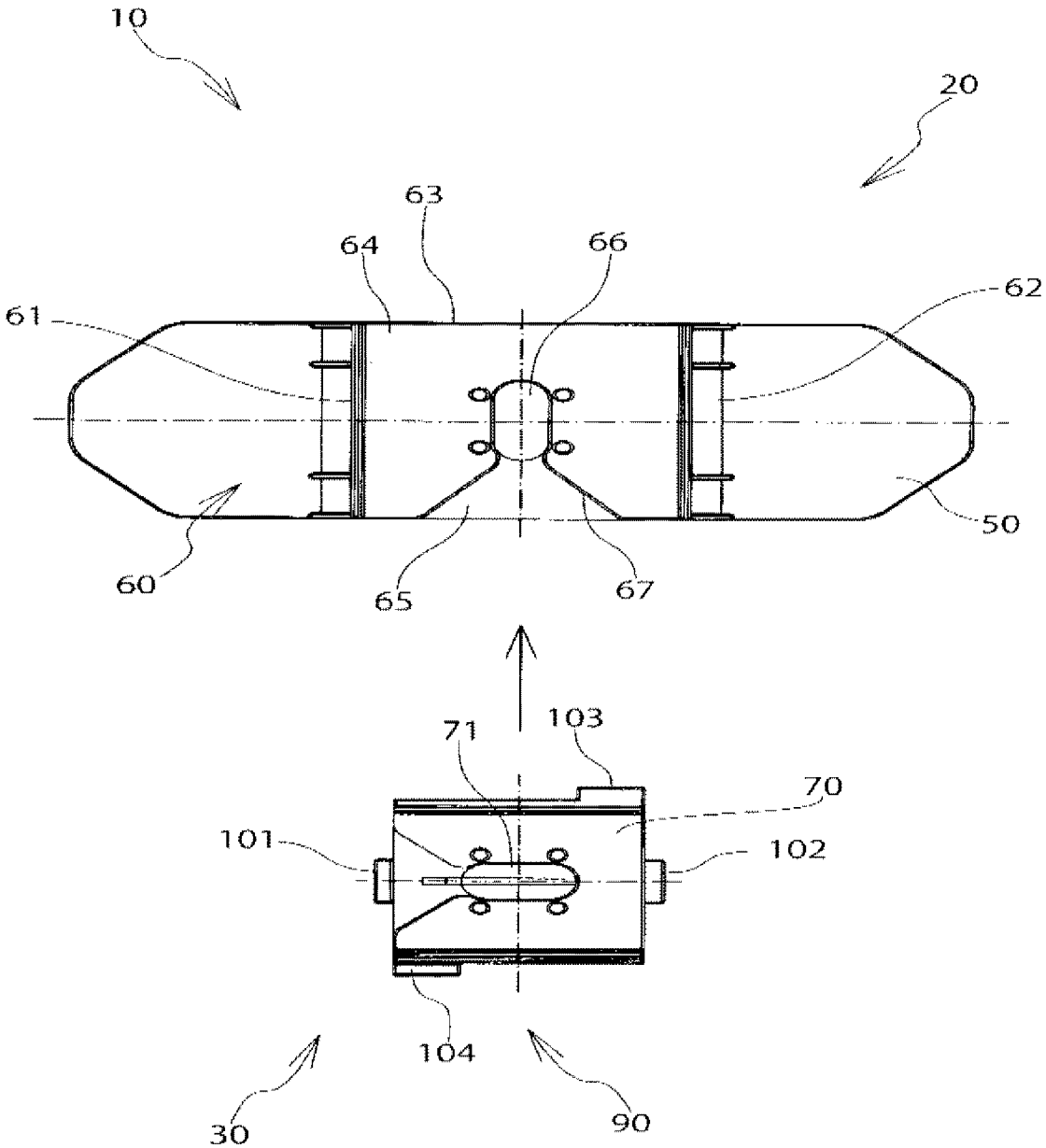
[図22]



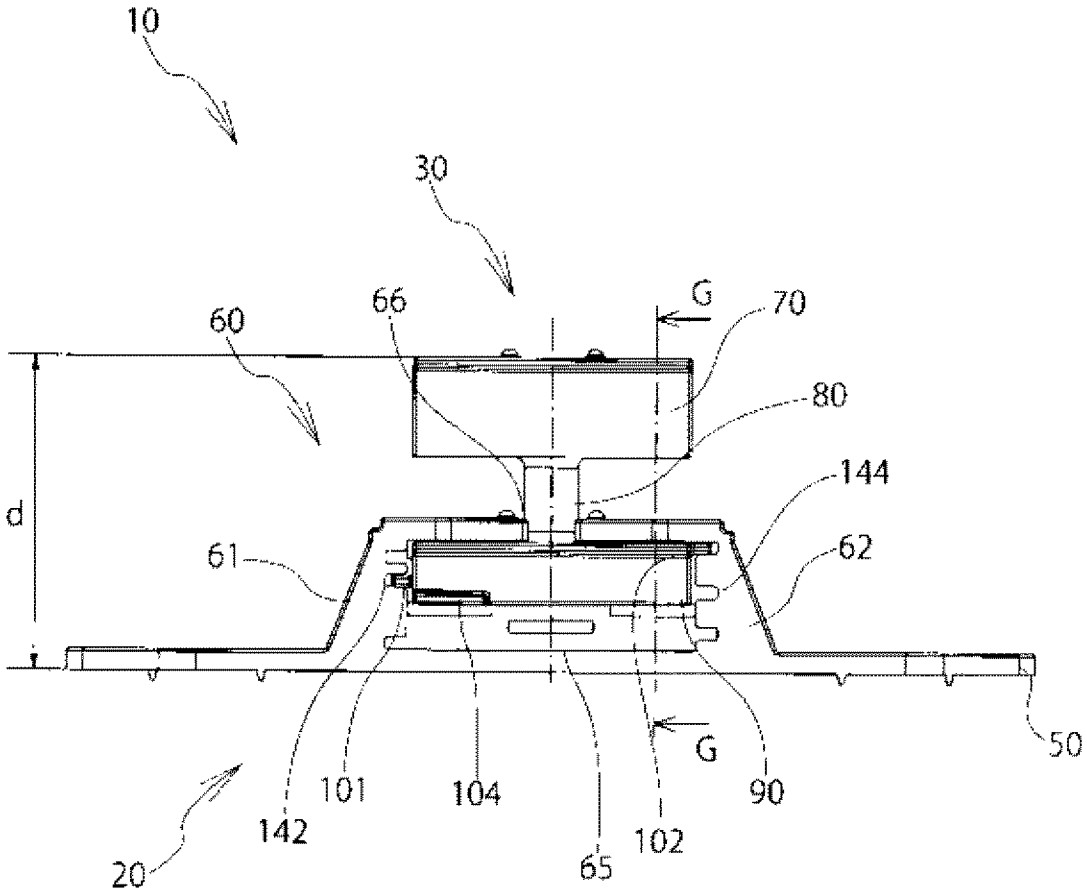
[図23]



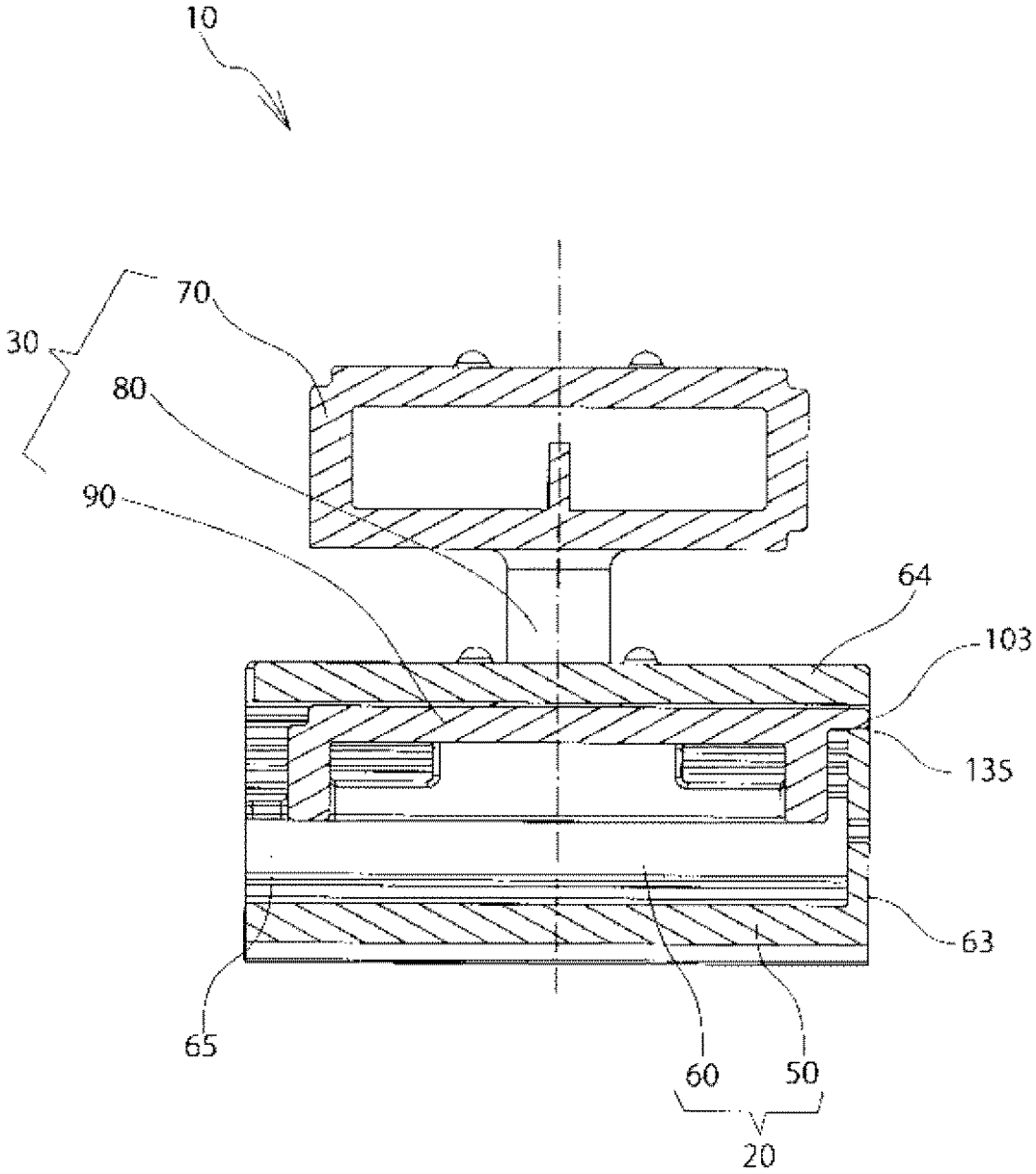
[図24]



[図25]



[図26]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2011/078726

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
F16B5/10(2006.01)i, *B60R13/02*(2006.01)i, *B60R13/04*(2006.01)i, *F16B19/00*(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
F16B5/10, B60R13/02, B60R13/04, F16B19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2012
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2012	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 6-270673 A (Kasai Kogyo Co., Ltd.), 24 September 1994 (24.09.1994), entire text; all drawings (Family: none)	1-6
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 59369/1971(Laid-open No. 16702/1973) (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 24 February 1973 (24.02.1973), entire text; all drawings (Family: none)	1-6

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
02 March, 2012 (02.03.12)	13 March, 2012 (13.03.12)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１１／０７８７２６

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　F16B5/10(2006.01)i, B60R13/02(2006.01)i, B60R13/04(2006.01)i, F16B19/00(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　F16B5/10, B60R13/02, B60R13/04, F16B19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１２年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１２年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１２年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
A	JP 6-270673 A (河西工業株式会社) 1994.09.24, 全文, 全図 (ファミリーなし)	１－６
A	日本国実用新案登録出願 46-59369 号(日本国実用新案登録出願公開 48-16702 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (松下電器産業株式会社) 1973.02.24, 全文, 全図 (ファミリーなし)	１－６

☐　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 ０２．０３．２０１２	国際調査報告の発送日 １３．０３．２０１２
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ） 郵便番号１００－８９１５ 東京都千代田区霞が関三丁目４番３号	特許庁審査官（権限のある職員）　３Ｗ　９３３０ 村山　禎恒 電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３３６８